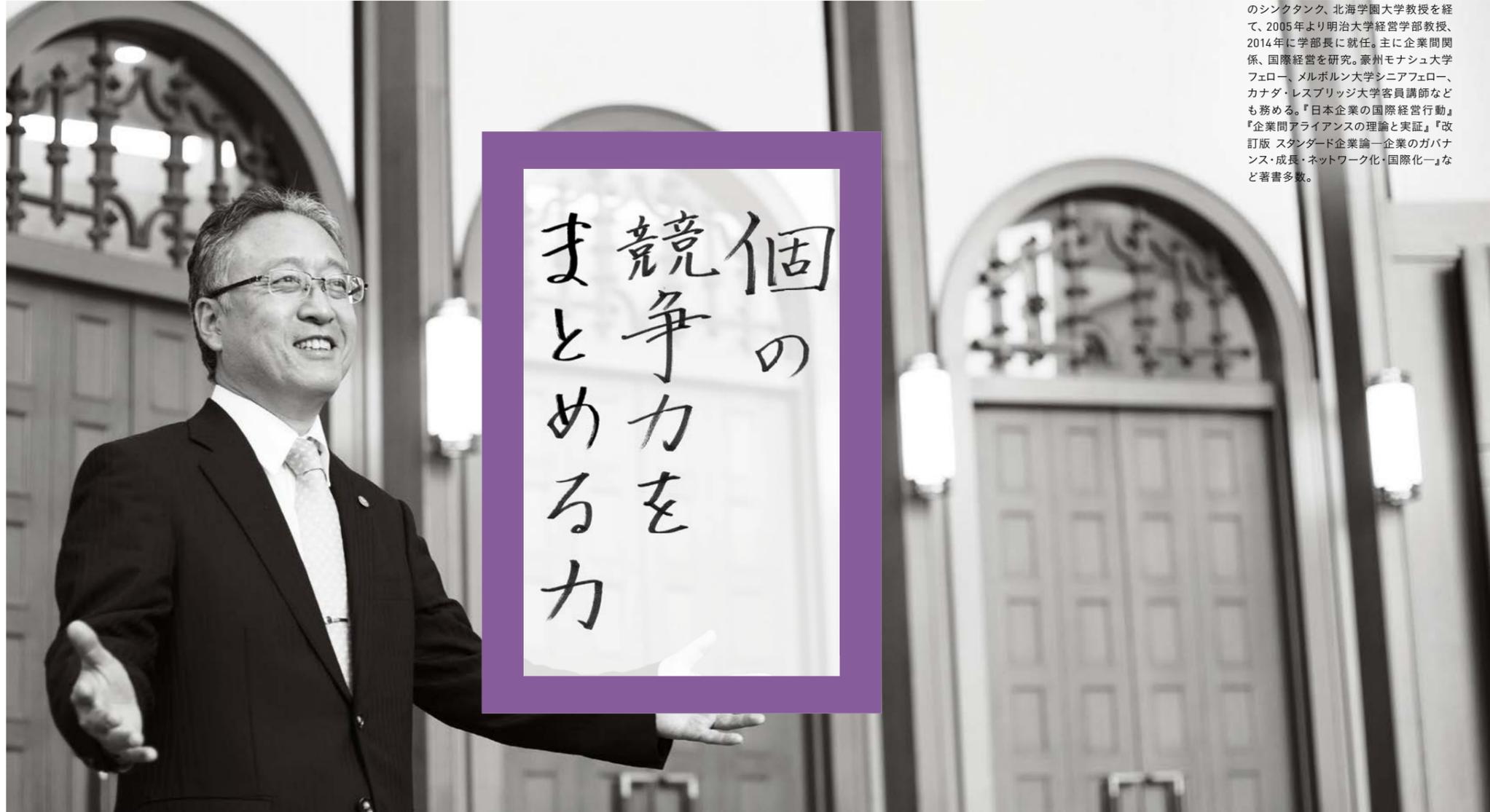


経営学部 2017

School of Business Administration



世界に羽ばたくグローバル経営人材を養成。



経営学部長
牛丸 元 (うしまる はじめ)

1985年小樽商科大学商学部卒業。1989年筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程修了。博士(経営学、北海道大学)。協和銀行、富士総合研究所などのシンクタンク、北海学園大学教授を経て、2005年より明治大学経営学部教授、2014年に学部長に就任。主に企業間関係、国際経営を研究。豪州モナシュ大学フェロー、メルボルン大学シニアフェロー、カナダ・レスブリッジ大学客員講師なども務める。『日本企業の国際経営行動』『企業間アライアンスの理論と実証』『改訂版 スタンダード企業論—企業のガバナンス・成長・ネットワーク化・国際化—』など著書多数。

10
人×□=個

「個」はあなた自身と、あなたという器の中身で形づくられるもの。
□の中には、あなたというキャンパス、そしてあなたという器を強くしてくれる秘密が隠されています。
明治大学経営学部で、世界で活躍できるあなたの「個」を育ててみませんか？

日本において、20世紀は経済学の時代であったと思います。しかし、21世紀の今日では経済のグローバル化が進み、1国の政府の経済政策によって、その国の企業行動をコントロールしていくことは限界に達してきました。グローバル化に伴い、規制緩和や自由化が急速に進展するなか、企業に多くの選択肢が与えられつつあります。企業は政府に頼ることなく自らの判断によって意思決定し、行動することがより鮮明になってきています。経営学は企業の「個を強くする」ことで、この問題を解決しようとするものです。経営学を学ぶ意義は、グローバル化し、多様化する経済や社会において、自らの視点に基づいて行動することができるような知見を獲得するといった点にあるといえるでしょう。

現在の日本はさまざまな問題を抱えています。特に人口減少は大きな問題です。企業はもはや国内だけの活動では大きくなった母体を支えきれません。生き残っていくには、海外進出を積極的に展開すると同時に、海外からも人や企業を招き入れるしかありません。外なるグローバル化ばかりでなく内なるグローバル化も進めていく必要があるのです。グローバル化の進展は、私たち日本人が多様化にも真剣に向き合うことを迫っています。

経営学部では、2015年度からGREAT(Global Resources English Applied Track)という、専門能力と英語能力を同時に養うミックス型カリキュラムを開始しました。これは将来、海外の大学に留学して経営学を学び、国際舞台で活躍ができるような能力を養成するものです。英語で経営学の授業を行うだけでなく、

国内外で展開されるフィールドスタディ、インターンシップ、国際ボランティア、海外提携校への各種留学、企業からの講師を招いてのワーキンググループ型授業などを展開します。また、英語プレゼンテーション大会、懸賞論文などでのグループ発表などによって、トータルな能力を強化していきます。

これからの企業には、自らプロジェクトを立ち上げて導く企画力とリーダーシップ力、個々を組織としてまとめる力をもった人材がますます必要となるでしょう。コミュニケーション能力、企画力、リーダーシップ力、こうした3つの能力をもつ人材を、私たちは「グローバル経営人材」と呼び、その育成に全力を尽くしています。世界を視野に入れた、知的チャレンジ精神旺盛な受験生のみなさんをお待ちしています。

CONTENTS

学部長メッセージ	01
経営学部概要	03
経営学部の特色	
1 グローバル経営人材の育成	
GREAT	05
IBP Plus	07
ISIBM	09
経営学部独自の学部間協定校	10
2 事業創造人材の育成	
フィールドスタディ	11
グローバル・サービスラーニング	13
経営総合講義A(産学協同就業力養成講座)	14
キャリア形成入門	15
インターンシップ実習	15
経営学部のゼミナール教育	16
初年次教育	
教養科目・外国語科目	17
基礎専門科目	18
学科紹介	
☑経営学科	19
☑会計学科	21
☑公共経営学科	23
教員紹介	25
卒業後の進路	
早期卒業制度・ 大学院経営学研究科・専門職大学院	28
就職サポート・資格取得	29
就職実績	30
卒業生メッセージ 懸賞論文制度・奨学金制度	31
入試情報	33

※登場する人物の在籍年次や役職等は、取材時点のものです。

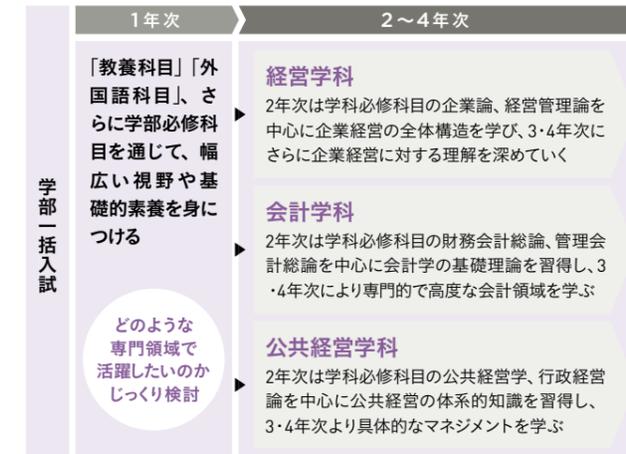
一人ひとりの問題意識や興味を引き出す、さまざまなプログラム

1953年、明治大学経営学部は私立大学最初の経営学部として設立されました。それ以来、常に時代を牽引するビジネスリーダーを送り出してきました。2002年には経営学科、会計学科、公共経営学科の3学科制に変更し、学部教育の専門性を高めています。また、2015年からは学科所属を2年次からに変更することで、学科内容を理解したうえで所属を決定できるようにしました。学科間の垣根は低くしていますので、所属学科以外の演習(ゼミナール)や専門科目も履修することができ、多様なニーズに対応できるようにしています。

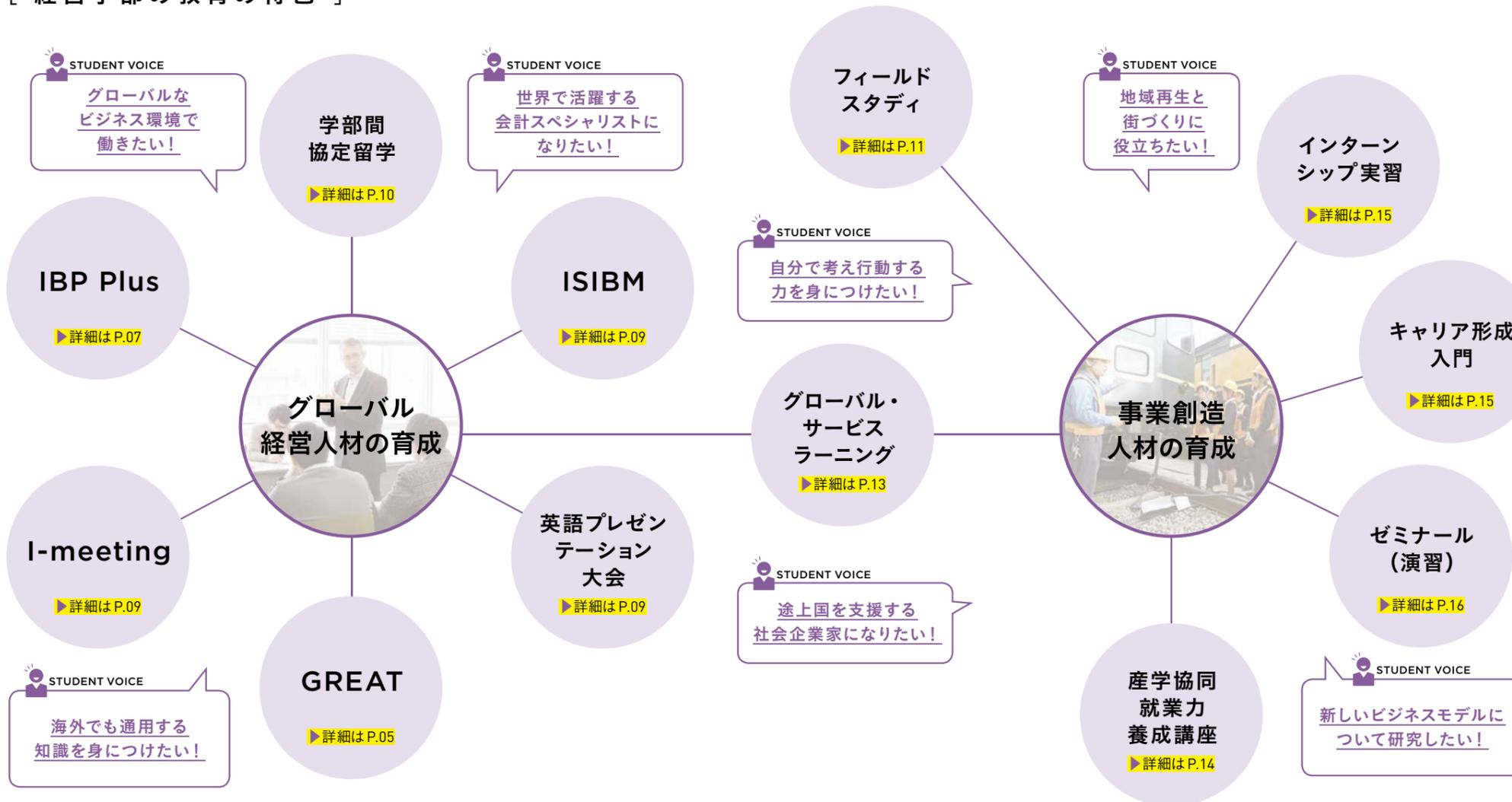
明治大学は文部科学省の国際化推進プロジェクト「グローバル30」に引き続いて、2014年には「スーパーグローバル大学」に採

択されました。この大学の強力な国際化に応じて、経営学部は「グローバルレベルでビジネスを創造・推進する経営人材の育成」を教育目標とし、「グローバル経営人材」と「事業創造人材」の育成のためにカリキュラムを設定しています。GREATや英語による専門授業科目(40科目60クラス)、学部独自の留学制度など、将来、海外で活躍しようと考えている人にぴったりのプログラムです。また、「個」を強くするという大学の理念に基づいて、体験型授業やプロジェクト・ベースド・ラーニング、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。これらの多くは答えの無い問題に挑む授業です。予測が難しい現代社会において、マネジメントの方向性を決め、新しいビジネスを推進する力を養います。

[4年間の学びの流れ]



[経営学部の教育の特色]



明治大学経営学部の強み

ビジネスリーダーを目指す
あなたの「想い」に応える学部

Point 1 学ぶ目的を明確にする 「2年次からの3学科制度」

1年次では経営学の全般を学び、より複雑化、細分化する全体像を把握、2年次から経営学科、会計学科、公共経営学科の3つの学科に分かれ、専門領域に打ち込めるシステムです。▶詳細はP.19~24

Point 2 英語スキルと専門知識の融合 「GREAT」

2015年度開始のGREATは、英語スキルと専門知識をミックスさせたカリキュラムを1年次から体系的に導入することで、世界で通用する英語能力と専門能力を同時に養い、「グローバル経営人材」を育成します。▶詳細はP.05~06

Point 3 留学を通してグローバル社会の扉を開く 「経営学部独自の留学プログラム」

短期留学プログラムのIBP PlusやISIBM、11大学12学部との学部間協定留学プログラムにおける正規留学など学生のニーズに対応した多様な留学プログラムを用意しています。▶詳細はP.07~10

Point 4 教室外での体験型実践教育 「フィールドスタディ」

社会の現場に飛び出し、自分の専門テーマに沿った自発的な調査、研究、問題解決を行うフィールドスタディを重視しています。国内だけでなく、海外へも調査に行き、プレゼンテーション能力の向上も同時に図れます。▶詳細はP.11~12

Point 5 海外で社会貢献活動を体験 「グローバル・サービスラーニング」

単なるボランティア実習ではなく、日本と異なる経済状況、文化・生活習慣のなかでの「社会奉仕」活動を通じて社会課題について考え、解決するための知識の習得を目的としています。▶詳細はP.13

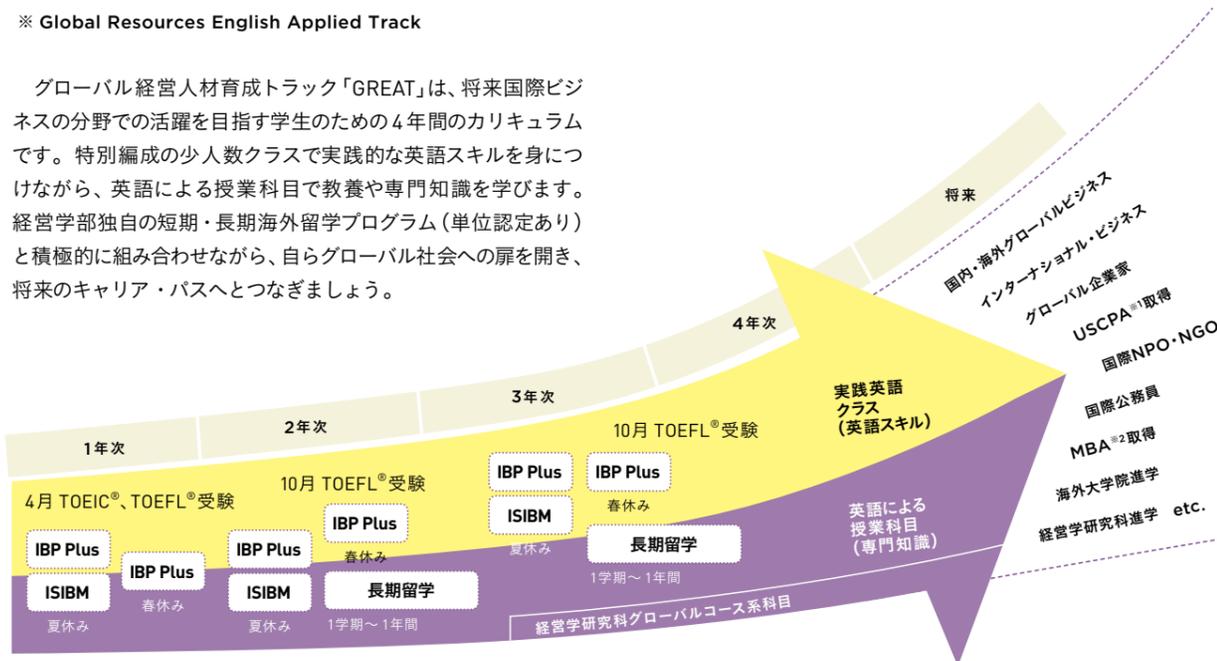
Point 6 企業の現場を意識する 「1年次からのキャリア教育」

産学協同就業力養成講座、キャリア形成入門、インターシップ実習による就業体験、学部独自の就職セミナーを通じて、1年次から段階的に社会人基礎力を醸成しています。▶詳細は14~15、29~30

グローバル社会への扉を開く 「GREAT」※

※ Global Resources English Applied Track

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来国際ビジネスの分野での活躍を目指す学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養と専門知識を学びます。経営学部独自の短期・長期海外留学プログラム(単位認定あり)と積極的に組み合わせながら、自らグローバル社会への扉を開き、将来のキャリア・パスへとつなぎましょう。



※1 USCPA(U.S. Certified Public Accountant)は、米国各州が認定する公認会計士資格です。
 ※2 MBA(Master of Business Administration)とは、高度な経営学を学ぶビジネススクールの修了者に与えられる修士号(学位)です。
 ※図中のIBP Plus、ISIBM、長期留学は応募可能な海外留学の時期を示します。なお、海外留学はGREAT修了の必須要件ではありません。

	1年次	2年次	3年次	4年次
実践英語クラス(英語スキル)	「Study Skills」や「English for Business Studies」において、4年間のGREATおよび正規留学に必要な英語スキルの基礎を学びます	「Strategic Communication」や「Academic Writing」、「Advanced Presentation」において、より高度な英語スキルを身につけます	1・2年次で学んだ英語スキルと専門知識の融合をさらに発展させ、「ビジネス英語」「ビジネス・プレゼンテーション」において、ビジネス分野で必要な英語スキルを学びます	
英語による授業科目(専門知識)	「Global Issues」などのクラスにおいて、グローバル社会に通用する国際教養を学びます	「Introduction to Management」「Basic Accounting」などのクラスにおいて、英語による専門知識の基盤づくりを行います	より専門的なビジネス専門科目を含む幅広い英語による授業科目を履修します	グローバルコース系科目(経営学研究科) ※要件を満たせば履修可能

※入学時に実施されるTOEIC®のスコア上位100名が対象になります。

GREATの特色

英語スキルと専門知識を同時に取り入れる GREATでは、学問におけるグローバル・スタンダードを意識した学習活動を入学時から行います。英語で講義を受けるために必要なリスニングのスキル、重要な点をすばやく書き留めるノート・テイキングのスキル、英語の文献を読むためのリーディングのスキル、英文で自分の主張を効果的に行う文章力、ディスカッションやプレゼンに必要な英語による論理的思考力・表現力など、明治キャンパス内の英語による授業科目受講や海外留学時に必要なスキルを身につけます。TOEFL®やIELTS™などの国際的な英語検定試験における高得点獲得にも力を入れ、3年次秋からの留学を想定して入学後の4月と、2年次の10月にTOEFL®団体受験を行います。また、「I-meeting」に代表される異文化交流のイベントで異文化理解を深め、「英語プレゼンテーション大会」では訴えたい自分の

主張を効果的にプレゼンします。経営学部では、独自の短期留学プログラム「IBP Plus」や夏期インターナショナルビジネスマネジメントプログラム「ISIBM」、「学部間協定留学プログラム」などの国際プログラムを用意し、GREATで培ったグローバル・スタンダードの基盤をもとに、自らグローバル社会への扉を開く学生を力強くサポートします。



Introduction to Management

GREAT2年次に履修する専門科目「Introduction to Management」を紹介します。

2年次に履修する「Introduction to Management」では、アメリカの大学で教えている標準的な経営学の基礎知識を英語で講義します。1年次で獲得した英語スキルと日本語で学んだ経営学の基礎知識を融合させる授業科目で、3～4年次に履修する英語による基礎専門科目・経営学専攻科目への橋渡しの役割を果た

します。「Introduction to Management」を履修することで、日本と異なる経営および経営学への理解を深め、3～4年次の英語による専門科目全般の履修に向けた準備をすることになります。

▶ 明治大学で育ててほしい“個”とは？



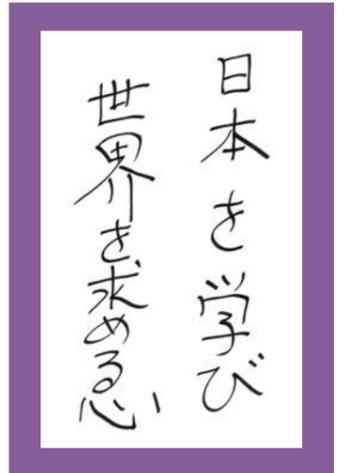
MESSAGE

鷲見 淳 専任講師

学生全体の英語力向上を図り、能力とやる気のある学生にチャンスを与えていく、いわば「Gifted Program」への移行が、「GREAT」の根底の考えです。私が提案しているのは「グローバル(グローバル&ローカル)マインド」。日本を学び、世界を求め、ということです。日本を外から見る機会をもち、「頭(知識)」だけでなく「心」で多様性を受け入れ、世界に羽ばたいてほしいと願います。

PROFILE

慶応義塾大学経済学部経済学科、ニューメキシコ大学・人類学研究科修了。ニューメキシコ大学、サザン・メソジスト大学、テンプル大学講師を経て現職。主な担当科目は、International Management(国際経営論)、Introduction to Management。



[2016年度 経営学部「英語による授業科目」一覧]

区分	授業科目(春・秋学期で40科目60コマ設置)		区分	授業科目(春・秋学期で40科目60コマ設置)	
	春学期	秋学期		春学期	秋学期
講義科目	Basic Accounting	Global Issues B	講義科目	Strategic Analysis of Japanese Companies A	Strategic Analysis of Japanese Companies B
	Global Issues A	Introduction to Management B		Comparative Business Management A	Comparative Business Management B
	Introduction to Management A	Japanese Economy		比較経営論(アメリカ)A	比較経営論(アメリカ)B
	ネット・ビジネス論A(2016年度未開講)	企業の社会的責任論		Transcultural Management A	Transcultural Management B
	コンテンツ・ビジネス論A(2016年度未開講)	ネット・ビジネス論B(2016年度未開講)		経営学特別講義C	経営学特別講義D
	Corporate Accounting A(2016年度未開講)	Corporate Accounting B(2016年度未開講)		Introduction to Public Management(半期開講「春学期」または「秋学期」、2017年度開講)	
講義科目(語学)	基礎専門特別講義A	アメリカ文化論	講義科目(語学)	TOEFL Reading(GREAT専用)	TOEFL Writing(GREAT専用)
	Innovation Strategy in Japan A	基礎専門特別講義B		TOEFL Listening(GREAT専用)	TOEFL Speaking(GREAT専用)
	Strategic Marketing A	Innovation Strategy in Japan B		TOEFL Preparation A	TOEFL Preparation B
	国際経営論 A	Strategic Marketing B		English Exams A	English Exams B
実習科目		国際経営論 B	実習科目	ビジネス・プレゼンテーションA	ビジネス・プレゼンテーションB
				International Business Program Plus A	International Business Program Plus B

STUDENT VOICE

経営学部1年
押切 彩
神奈川県立
湘南白百合学園
高等学校卒業



大学生らしい少人数制の授業で 生きた英語を学びませんか？

1年次には、TOEFL®を技能別に習得するものから、グループワークを通して国際問題を学ぶ授業など週5コマの授業があります。どれも大学生らしく自ら積極的に参加する姿勢が求められる少人数制の授業です。そのなかでもさまざまな事例に則しながら経営学を英語で学ぶ授業は、多方面から知識を得られるため楽しみにしています。

留学に向けて勉強に真摯に励む友達や、豊富な知識に敬服させられる先生方に囲まれて過ごすなかで、将来はサービス業のなかで英語を使える業種を目指そうと考えるようになりました。TOEIC®で高得点を取るとなると肩に力が入りがちですが、心配は要りません。明治大学経営学部にはかないGREATで、生きた英語を学びませんか？

経営学部独自の「留学制度」

「IBP[※] Plus」でビジネス英語を学ぶ

※ International Business Program

経営学部では、学生の海外留学を促進するため、学部間協定留学プログラムにおける正規留学をはじめ、学生のニーズに対応した多様な留学プログラムを用意しています。TOEIC[®] 400点以上を対象にした「IBP Plus」は、人気の短期留学プログラムです。

英語で積極的にコミュニケーションする習慣を身につける

IBP (International Business Program) Plus は、海外短期留学を行う実習関連科目(3単位)です。年2回夏休み・春休み期間中4週間アメリカの大学で実施されるプログラムが中心ですが、事前学習で渡航前に準備を行い、事後学習でのプレゼンや「振り返り学習」を通して海外体験で学んだこと、感じたこと、考えたことをまとめて報告し、後に続く学びの発展へとつなげます。現地では、ホームステイをしながら、授業内外で英語を常に使用することにより、英語でどんどん積極的にコミュニケーションする習慣を身につけます。また、英語を通してビジネス用語やスキル、プレゼンテーション能力の向上に特化した授業や現地企業訪問が組み込まれていて、「英語で経営学を学べる」短期留学プログラムとなっています。ビジネス英語学習や現地の企業訪問を中心とした海外経験を通して、異文

※2015年度からIBPはIBP Plusに科目名称を変更しました。

化コミュニケーション力・国際感覚を養うことの重要性に“気づき”、プログラム参加後、長期留学、インターンシップなどを含むアカデミック・パス、さらには、将来のキャリア・パスを学生自らがデザインすることを考えるきっかけとなるのが狙いです。

現地での企業訪問先は、ポートランド州立大学のプログラムでは、インテル、ナイキなどで、サンノゼ州立大学で行われるプログラムでは、Google、アドビシステムズとなっています。ポートランド州立大学のプログラムにおいては、派遣学生の英語のレベルをふたつに分け、よりきめの細かい語学指導が行えるようになっています。サンノゼ州立大学においては、クラスでの語学・ビジネス研修に加え、現地学生と交流する「会話クラブ」を毎週行っており、アメリカ文化やほかのさまざまな文化にふれ、異文化理解・異文化受容の体験ができます。また、アウトドアアクティビティやホームステイファミリーとのふれ合いを通じ、課外活動のうえでも異文化にふれる機会を多く設け、経営学部生の「グローバル経営人材養成」の土台づくりを行います。



初めての海外留学は、学生にとって大きな冒険。事前学習では「安心して冒険ができる英語力」を身につけます。



事前学習では、学生同士の緊張感を取り除くことも大切な目的。「短期留学終了後の事後学習では、みんなすっきり打ち解け合い、現地での経験について英語で楽しく語り合っています」とキアナン先生。

▶ 明治大学で育ててほしい“個”とは？

MESSAGE キアナン・パトリック 准教授

私は、すべての学生が在学中に一度は留学を経験してほしいと思っています。若いうちに海外で経験を積むことは、世界を知ると同時に、自分を知る人生最高のチャンスだからです。1カ月間、ホストファミリーの家庭で生活することはタフな経験ですが、英語力の向上だけでなく、「個」を育むうえでもかけがえのない機会となることでしょう。ぜひIBP Plusに参加して、ひと回り成長した自分と出会ってください。

PROFILE
1987年英国リーズ大学英語学部卒業。2000年英国バーミンガム大学大学院修士課程(英語教育法)修了。2008年同大学院博士課程(応用言語学)修了。研究テーマは「言語と異文化コミュニケーション」。



Broaden your outlook and broaden yourself Study Abroad

STUDENT VOICE

ポートランド州立大学へ留学

経営学部1年
小野口 諒
さいたま市立浦和高等学校卒業



好奇心をもって会話を楽しみ 異国の文化に親しむことができます

IBP Plusへ挑戦したきっかけは1カ月という期間を初めて海外で生活するのに、これ以上ない機会だと思ったからです。海外で生活することに強い憧れをもってはいましたが、実際に生活するというのは不安も多くなかなか行動に移せませんでした。しかしIBPの中では英語を使って覚えるという環境を多く提供され、楽しく充実感に満ち溢れた生活を送ることができました。なかでもホームステイ



という形式は大きな利点だと感じました。ホストファミリーとの生活では本当に多くのことを教えられ、好奇心をもって会話や質問をすることで外国の文化に親しむことができました。この短期留学を通して苦勞も多く、自分の考えが100%伝わらないこともありましたが、その分、これからの英語の学習の糧となりました。現在は実際に1年間の交換留学を目指し、英語の勉強に努めています。

STUDENT VOICE

アメリカ・サンノゼ州立大学へ留学

経営学部1年
原田 将太郎
神奈川県私立桐蔭学園中等教育学校卒業



留学先での刺激的な授業が 視野を広げる第1歩に

私は大学に入ったら長期間留学して英語を自由に使えるようになりたいと考えていたため、1カ月間という短期のIBP Plusは留学がどのようなかを知るのに最適だと思いチャレンジしました。留学先ではアジアや中東からの留学生たちと同じクラスで授業を受けました。そのなかで私がもっとも驚いたのは彼らの積極性の高さでした。発音はあまりきれいでなくても自分の思っている



ことを相手に伝えようという意志が強く、また、授業内での発言もとても積極的でした。その雰囲気は今まで自分が日本で受けてきた授業の雰囲気とはまったく異なり、視野を広げ、自分ももっとがんばらなくてはと考えるいい機会とすることができました。この経験をいかして、大学でも英語の勉強をがんばり、また留学してもっと視野を広げ、英語力を高めたいと思います。

▶ ビジネスマネジメントプログラム「ISIBM」

グローバル経営人材養成を目指す経営学部では、入門的な短期留学プログラムの「IBP Plus」と、高度な英語力を要する「学部間協定留学プログラム」を中心に国際化推進を行ってきましたが、より優れたグローバル経営人材となることを目指す学生のさまざまなニーズに応えるため、2014年度より短期間海外でビジネス専門知識を学ぶ「International Summer Institute for Business Management (ISIBM)」を課外の海外研修プログラムとして設置しました。

ISIBM (International Summer Institute for Business Management) は、学部の協定校のヴィクトリア大学ビジネス学部が夏休み期間中に実施する3週間のビジネスマネジメントプログラムです。世界各地域から訪れた学生とともに、短期間でビジネスコミュニケーション、起業からグローバルビジネスに至るまでのプロセス、海外のビジネス事情、グローバル経営の実態などについて、ヴィクトリア大学ビジネス学部の名高い教授陣から直接学ぶことができるのが大きな特長です。参加学生は個人で、あるいはそれぞれのチームで行ったりサーチをもとに絞りだしたビジネスのアイデアをもとにビジネスプランを策定し、授業時間外でのグループスタディを毎週行いながら、より現実的なプロジェクトを草案します。こういったチームの作業のなかでリーダーシップを学び、チームとして作業内容をまとめ、全体で持ち寄ってプレゼンをして考えや意見を共有・集約するプロセスを習得します。また、実践的な専門知識を学ぶISIBMの内容は、経営の理論について関心の高い学生にとっては長期留学や大学院進学への動機づけとなり、一方、実際のビジネス展開に興味のある学生にとってはグローバル社会で活躍できるようなそれぞれのキャリア・パスに向かう動機づけとなります。



プログラム最終日のbanquetでは、学長から直接修了証が手渡されます。



[グローバル社会で通用するコミュニケーション能力向上のためのプログラム]

英語プレゼンテーション大会

英語でのプレゼンテーション能力を向上させるためのプログラムです。個人、グループを問わず、これまで研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターには表彰並びに賞金が授与されます。2015年度は11組の学生が発表しました。

英語エッセイコンテスト

「書く」英語力の向上を目的として、2015年度より開始しました。特にビジネスの現場では、英語でのEメールや、自分の考えを発信することが求められます。800語程度の英語エッセイのなかで、構想力、論理展開、リサーチスキル、十分かつ簡潔な英語表現力を競います。

I-meeting (アイ・ミーティング)

I-meetingとは、経営学部で行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、および教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めています。

経営学部独自の外国語検定サポート

経営学部では語学習得のサポートのため、各外国語検定の試験料補助を行っています。

● TOEIC® 試験 年1回・1年次は年2回(全額補助)

現在TOEIC®は、就職の際などにさまざまな場面で英語力を測る基準として用いられています。経営学部では1・2年次の英語クラスはこのTOEIC®スコアをもとに習熟度別に編成しており、定期的な英語力チェックを行うことでスコアアップにつなげることができます。

● TOEFL® 試験 IBT: 年1回、ITP: 年2回(全額補助)

TOEFL®は、英語を母国語としない人々の英語力を測る、世界各国で実施されている試験です。TOEFL®のスコアを交換留学の出願条件としている英語圏の大学は多く存在し、留学を希望する人は、留学希望先の大学が要求するスコアを取得しておく必要があります。

● 各種外国語検定試験 年1回(全額補助)

初習外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語)の外国語検定試験について、春季または秋季のいずれかから年1回、検定料を全額補助しています。

▶ 経営学部独自の学部間協定校

経営学部では、「グローバル経営人材の育成」という教育目標の下、外国の経営系学部との学部間協定を積極的に進め、学部の国際化を推進しています。

ソウル国立大学 経営学部 (韓国・ソウル)

創立年: 1946年 学部学生数: 約1,200人

韓国最高峰の大学として、教育と研究の質は世界的に高く評価されており、古くから国際交流が盛んに行われている。経営学部では「グローバルリーダーの育成」に取り組んでおり、理論と実践教育の双方に力を入れている。



ヴィクトリア大学 ビジネス学部 (カナダ・ヴィクトリア)

創立年: 1963年 学部学生数: 約1,000人

ブリティッシュ・コロンビア州の州都、ヴィクトリアに所在する総合大学。国内のみならず世界的に定評のある大学。ビジネス学部では、理論と実践を組み合わせた教育プログラムを展開している。



ESCEM ビジネスマネジメントスクール (フランス・トゥール/ボワティエ)

創立年: 2013年 学生数: 約2,200人

歴史的に名高く、学生都市としても知られるトゥールとボワティエにあるビジネスに特化したグランゼコール。次世代を担うアントレプレナーの育成を目標としている。



IPAG ビジネススクール (フランス・パリ/ニース)

創立年: 1965年 学生数: 約2,500人

アメリカのビジネススクールの教授法をモデルに創られた、経営専門の教育機関。ビジネスとマネジメントを基礎に専門性と国際性に特化した科目を提供。両キャンパスで英語での授業を実施している。



オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部 (ドイツ・オスナブリュック)

創立年: 1971年 学部学生数: 約4,000人

1,200年の歴史ある街、オスナブリュックにキャンパスをもつ。企業と連携したプロジェクトの実施およびインターンシップ制度の確立など、早期から学生に実務経験を積ませる教育を展開している。



IE University (スペイン・セゴビア/マドリッド)

創立年: 2007年 学生数: 約1,100人

経営学を含む8つの専攻から構成される4年制の私立大学(学士課程)。理論と実践教育を通じて高度な専門的スキルを身につけられる徹底したプログラムを提供しており、教育水準の高さは定評がある。



中山大学 国際金融学院 (中国・珠海)

創立年: 1924年 学部学生数: 約1,200人

孫文により1924年に設立された、国内屈指の名門大学。本学は、中山大学の伝統的な学問の継承と国際性・専門性に富む学生の育成を目的とし、国際交流・国際連携プログラムの充実を図っている。



対外経済貿易大学 国際商学院 (中国・北京)

創立年: 1951年 学部学生数: 約1,500人

国際経済・貿易の専門大学として名高い国立大学。中国教育部管轄の国家重点大学の1校でアメリカのマネジメント教育を早期に導入し、専門的スキルや統合的思考の向上に重点的に取り組んでいる。



香港城市大学 商学院 (中国・香港特別行政区)

創立年: 1984年 学部学生数: 約5,200人

グローバル都市として名高い香港特別行政区に所在する公立大学。コミュニケーション能力や分析力の向上を重点的に図る教育プログラムを展開し、ビジネススクールとして躍進し続けている。



シーナカリンウィロート大学 経済公共政策学部/サステイナビリティ研究国際学部 (タイ・バンコク)

創立年: 1949年 学部学生数: 約700人/約400人

教員養成学校として設立され、総合大学へと発展。タイの社会問題や経済問題にふれる機会を提供し、理論的かつ実践的なアプローチで学生の能力を育成するなど、特色ある教育を行っている。



カーディフ大学 カーディフビジネススクール (イギリス・カーディフ)

創立年: 1883年 学部学生数: 3,000人

ウェールズの首都カーディフの中心街から徒歩10分圏内の穏やかな地域にキャンパスをもつ。ウェールズで唯一AACSBの認証評価を受けているイギリストップレベルのビジネススクール。



自分で考え、行動する力を養う 現場で学ぶ体験型授業 「フィールドスタディ」

CSR活動の 実情調査

学びたいテーマに沿って事前調査を行い、レポートをまとめるフィールドスタディ。アポイントからプレゼンテーションまで行う、通常の授業では味わえない緊張感のある現場学習は、貴重な体験です。

入念な事前準備を重ねて挑む 社会人相手のプレゼンテーションの成果

フィールドスタディは、通常の教室での授業とは異なり、実際の社会の現場に出かけて学ぶ授業です。あくまでも学生主体で、興味のあるテーマに沿って事前調査を行い、問題意識をもって課題を見つけて取り組みます。フィールドワークの現場は、地方や離島、そして、日本だけでなく、海外で行われるものもあります。そのなかでも、大阪2泊3日で行われる石津先生のフィールドスタディ「CSR活動の実情調査」をレポートします。

2014年度は、JR西日本（西日本旅客鉄道株式会社）、NPO法人CASAなど大阪の企業、法人数社を訪問しました。大きなポイントは、学生自ら「魅力的」と思う企業、法人を選定し、アポイントメントを取ることから、訪問のプランニング、事前学習すべてを自主的に行うということです。そして、自分たちで発見した課

題に沿って学習を重ね、実際に企業、法人に向けてプレゼンテーションを行います。学生にとってはすべてが緊張の初体験です。

今回のフィールドスタディ1日目には、JR西日本本社でのプレゼンテーションがありました。学生が取り組んだテーマは『街づくりの中心としての「駅」』。主な鉄道会社のCSR（企業の社会的責任）活動について掘り下げ、パワーポイントを使って、「子育て支援」「バリアフリー」の観点からの考察と提案をしました。プレゼンテーション後は、企業側からの質疑への応答、意見交換などが行われ、評価や感想をダイレクトに聞くことができました。

プレゼンテーションを行った学生は、「長い時間をかけて準備し、何度も練習を行い臨みました。とても緊張しましたが、この達成感は何にも代えられない大きなものです」と、充実感に満ちた表情で語ってくれました。戻ってからの授業では、訪問で得た新たな知見を付加して報告書を作成するとともに、学部のプレゼン大会（250名規模）に参加するなど、事後学習へとつながります。

▶ 明治大学で育ててほしい“個”とは？

MESSAGE

石津 寿恵 教授

当フィールドスタディは、学生の主体性重視です。企業の方と意見交換をしたり、直接感想を頂くことができますので、この経験は就職活動にも大きく役立ちます。途中たくさん失敗もありますが、その一つひとつを克服することが「個」を磨き上げるにつながっていきます。経営学部に用意されているたくさんの個性的なプログラムは、今まで気づけなかった自分自身の「可能性」を引き出してくれるでしょう。

PROFILE

明治大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。国家公務員（参議院）、明治大学経営学部准教授を経て現職。2012年カリフォルニア大学サンディエゴ校、2013年コロンビア大学ビジネススクール客員研究員。



太い根を持つ
好奇心

STUDENT VOICE



会計学科4年
池内 啓介
東京都私立明治大学付属
中野八王子高等学校卒業

社会人に自分たちの意見や提案を聞いてもらえる フィールドスタディは多くの収穫があります

教室の授業での情報分析だけでなく、実際の企業や法人の方々に自分たちの意見、提案を聞いて頂ける機会は貴重です。今回、プレゼンを行って、改めて“誰に対して行か”という根本的な部分の重要性に気づきました。誰を対象にするかで同じテーマでも、その内容、伝えたい部分は大きく変わってきます。これは世の中に

回っている広告、商品、すべてのものに見えると感じました。また、プレゼンの整合性、論理性、説得力などを問われ、その難しさも痛感しました。今回訪問させて頂いたJR西日本では、憧れだった「トワイライトエクスプレス」を現場の方々の説明を受けながら見学できたことも、とても印象に残っています。



JR西日本でのプレゼンテーションの様子。自分たちの研究の成果を試し、企業側からの生の声を聞くことができる貴重な機会。



本社訪問の前に、JR西日本の総合車両基地である宮原支所にて、車両点検の現場などを見学。車両の中にも入らせて頂くなど、普段見られない現場の裏側を体験取材。

[フィールドスタディ 科目一覧 (2016年度予定)]

※実習先が変更になる場合があります。

テーマ	実習先 (予定)	教員
インドネシアとシンガポール	シンガポール、インドネシア	阿部 卓
宮古島の社会と文化	沖縄県(宮古島市)	居駒 永幸
財務・環境・社会の視点で企業を読み解く	中国・関西方面	石津 寿恵
日本企業のグローバル・マーケティング実態調査	オランダ	大石 芳裕
日本企業のグローバル・マーケティング実態調査	インド	大石 芳裕
日本企業の組織と運営	関東周辺の日本企業	郝 燕書
中国における日系企業の人材マネジメント	中国(北京・上海)	郝 燕書
中国における日系企業の人材マネジメント	中国(大連・青島)	郝 燕書
日ロのビジネスと社会の比較	ロシア	加藤 志津子
企業経営の歴史と現状	京都府	佐々木 聡
地域中核企業・地域産業分析	山形県(酒田市)	藤江 昌嗣
地域中核企業・地域産業分析	京都府	藤江 昌嗣
An introduction to qualitative field research	東京都	BRADFORD Annette
The U.S., Japan, and Yokosuka city	神奈川県(横須賀市)	BRADFORD Annette

グローバル・サービラーニング



グローバル・サービラーニングとは、2015年度より経営学部の実習関連科目として新規設置された経営学部独自の海外サービラーニング科目です。サービラーニングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」(サービス)活動を通じて課題解決の

ための知識を習得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣のなかでボランティアを経験し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決するための社会貢献活動を行います。本科目を履修し修了すると単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

[2015年度の活動内容例]

グローバル・サービラーニングA(春学期)

〈実習期間〉 2015年8月25日～9月7日(14日間)
 〈実習先〉 フィリピン共和国(セブ)

[主な活動内容]

- ① マザーテレサ孤児院(子供たちとの交流、フィーディング等)
- ② ガサガサ老人ホーム(施設内の清掃や洗濯、介護のお手伝い)
- ③ 山村の集落のマドロスを訪問(インタビュー、大葉植え、フィーディング等)

- ④ Feeding Center(フライドチキンやおかゆサンドウィッチの提供)
- ⑤ サントニーヨ教会(ストリートチルドレンへのフィーディング)
- ⑥ カレタ地区の墓地(子供たちとの交流、家庭訪問、古着の提供等)
- ⑦ セブ市内のゴミ山の見学(環境問題について考える)

STUDENT VOICE

公共経営学科2年
深谷 勇斗
 東京都私立明治大学付属
 中野八王子高等学校卒業



自分の新たな可能性を見つけ出す 貴重な機会になりました

以前から海外で人を助ける職業に就いて、人のために働きたいと考えてはいましたが、英語が苦手な私は行動に移すことができませんでした。そんななか、このプログラムを知り、活動期間が2週間と短期間だったため、チャレンジしてみようと思い、参加を希望しました。

海外での生活やともにボランティア活動を行う仲間との交流は、自分を見つめなお

す良い機会となりました。また、現地では自分の思ったことを相手に伝えることができず、もどかしさを感じました。そのため帰国後は英語の勉強意欲が向上し、さまざまなことにチャレンジしようと思えるようになりました。この体験は私にものごとを多面的にとらえる幅広い視野と、言語学習に対する意欲を与えてくれる貴重な機会となりました。

経営総合講義A(産学協同就業力養成講座)



経営総合講義Aは、1年次の春学期にのみ開講している実践型の授業です。

ビジネスの第一線で活躍しているビジネスパーソンを「上司」としてお招きし、受講生は「部下」として課題に取り組んでいきます。提示される課題は、実際のビジネス・シーンで取り組まれている内容です。受講生は少人数のチームに分かれて、課題解決の方策を考え、調べ、検討し、ビジネス提案としてプレゼン報告

をします。学期の前半と後半でチーム替えをし、ふたつの企業課題に取り組みます。与えられる時間はとても短く、チーム全員の力が試されます。

社会でどのような能力を求められるかを知りたい人、自分の可能性を押し広げたい人、仲間と一緒に必死に課題に取り組んでみたい人、実際のビジネス・シーンをひと足先に体験したい人の想いに、もっともダイレクトに応える授業です。

[協力企業と課題(2015年度)]

- ・京王電鉄株式会社「多摩ニュータウンにおける不動産施設の開発企画」
- ・株式会社ホテルグランドパレス「ホテルグランドパレスの産直市場『ホテ市』の集客増加策」

[講義の流れ(以下のフローを2回)]



STUDENT VOICE

経営学部1年
松崎 友咲
 神奈川県立
 横浜翠嵐高等学校卒業

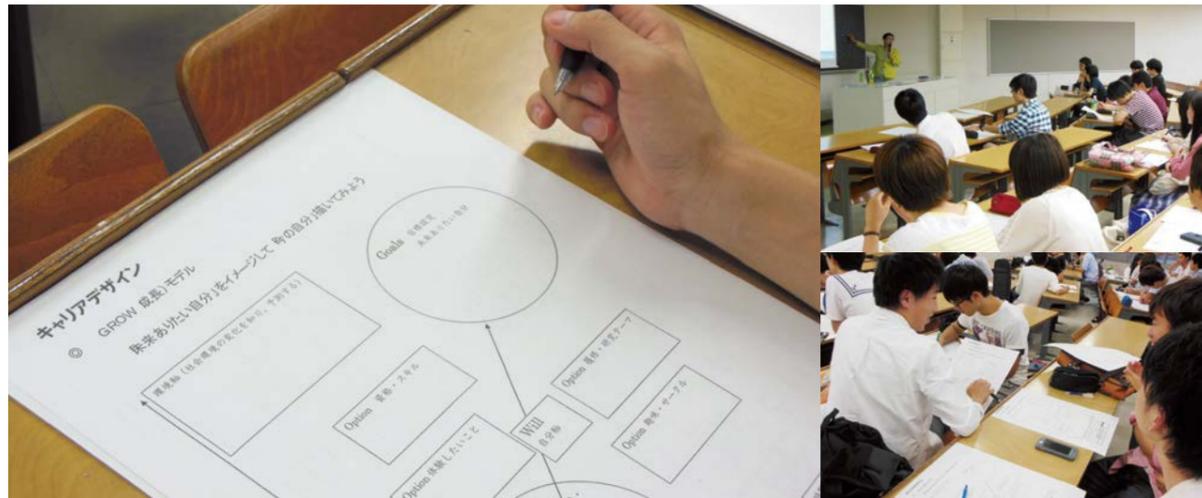


試行錯誤し、チームでひとつのものを つくり上げる喜びと大変さを学びました

マーケティングや企画系の仕事に興味があったのでこの講座の履修を決めました。企業が求めるプレゼンの難易度はとても高く、いかにして企業の方々を納得させる企画を作成できるか、チームのメンバーと試行錯誤しました。授業時間外にも企画に関連する土地に足を運んだり、チーム内の多様な意見を集約し、より良いプレゼンとなるように打ち合わせを重ね、最終プ

レゼン資料をつくり上げました。最終発表時は教室中が緊張感で包まれていました。大変だった分、プレゼンを褒めていただいたときの喜びはかけがえないものでした。任された仕事に責任をもつこと、チームで話し合ってひとつのプレゼンを作り上げることの大変さを学びました。将来はこの講座で学んだことをいかして、さまざまな企画に携わる仕事がしたいです。

キャリア形成入門



大学時代は、学問的・専門的な知識を獲得することとともに、社会人・職業人として、自らのキャリアを主体的に形成する準備をしていくことが求められます。本講義では、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。

また、経営学部としての特徴をいかし、将来のキャリア形成の場となる企業や非営利組織についての理解を深めるための分析視点の提供も行います。そのため、それぞれの分野での経験豊かな講師陣によるオムニバス形式での授業を行うとともに、ビジネスマナーなど一部実習形式を含む授業となっています。

STUDENT VOICE

経営学科2年
小崎 円佳
鹿児島県私立
鹿児島修学館高等学校卒業



人生の主人公は自分です。 夢を持って楽しみのある人生を！

将来の夢や目標を実現するために、今までの自分を見つめ、キャリアプランを考える良い機会になると思い、履修しました。各分野で活躍されている講師から学んでいくなかで、「将来の選択肢は多く、どんな目標も今からでも遅くない」と思うことができ

ました。自分の人生は自分で決めるという難しさを感じる一方で、将来に対する期待がさらに高まったようにも思います。この授業を通して、夢を実現するために今の自分に必要なことを再発見し、将来について真剣に考えるきっかけになるはず。

インターンシップ実習

インターンシップとは、在学中に教育課程の一環として夏季休暇などを利用し、主体的に自らの専攻とキャリアに関連した就業体験を行うことです。「全学版経由型」に加え、学生自ら企業のホームページなどを利用して実習先を開拓する「公募型」という方法も導入しています。実習生は研修期間中、企業の正社員や自治体職員などと机を並べ、アルバイトでは体験できない仕事に従事することができます。経営学部では「インターンシップ実習」という科目を履修することで単位を付与しており、2015年度には14名の学生が企業や行政機関での実習に参加しました。

[2015年度受け入れ機関一覧]

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 株式会社Roots | 株式会社 徳島銀行 |
| 株式会社モノカイ | 弥生株式会社 |
| 株式会社メディアハウスホールディングス | 株式会社クリーク・アンド・リバー |
| かわさき市民放送株式会社 | 中外製薬株式会社 |
| 全国社会保険労務士会連合会 | 損保ジャパン日本興亜株式会社 |
| 株式会社オフィスバンク | 江戸川区役所 |
| 中根税務会計事務所 | 株式会社良品計画 |
| 株式会社ブルックス | ベイシスホールディングス株式会社 |
| Educational Planning Inc. USA | 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 |

経営学部のゼミナール教育

ゼミナール(演習)は10~20名の少人数の学生が指導教員を囲んで学ぶところです。経営学部には、1・2年次の「教養演習」と、2・3・4年次の「演習」があります。「演習」では合宿や他大学との交流を行うゼミもあり、4年次には重要な卒業論文を書きます。4年生になると履修科目数は少なくなりますが、時間割に表れない多くの時間をゼミに費やすことになります。卒業論文の作成では、ひとつのテーマについて深く掘り下げる研究の進め方と、出てきた結果を論理的にまとめる方法を勉強します。苦勞してつくり上げた卒業論文は大学生活のまとめともいえるでしょう。



注目の演習科目

テーマは自由。卒業論文のWeb発表が目標

加藤 志津子 教授

本ゼミは、一人ひとりがWebで卒業論文を発表することを目標にしています。ご存知のように、Webで論文を発表すると、世界中の人々に読まれる可能性があります。アップロードする瞬間は、学生にとっても私にとってもワクワク、

ハラハラです。その準備のために、2年次から4年次まで個人やグループで勉強するとともに、大学院生、OBまで含めて一緒に勉強する機会を設けています。論文はそのようなゼミの団結の成果でもあります。



データで企業活動を捉えるスペシャリストに！

小俣 光文 教授

小俣ゼミでは、現実の事例の検討によって日頃培ってきた知識を、実際の事例にどのように適用して判断するのかといった問題解決能力や、健全なアカウントティング・マインドを身につけることが目標。そのために、実際の企業の

財務諸表や、会計に関する資格試験の問題を題材にゼミ生全員で検討していきます。これにより、社会に出て実務を行う際に、会計プロフェッションとしての判断が行えるような知識を習得することができるのです。



フィールドワークと課題解決提案力を重視

塚本 一郎 教授

塚本ゼミでは、非営利組織(NPO)と企業・政府との協働や企業の社会的責任(CSR)をテーマに学びます。理論を学ぶだけではなく、現地のNPOや企業・行政を訪問し、ヒアリング調査(フィールドワーク)を行い、課題解決のた

めの提案に取り組み、毎年、経営学部公開講座等で研究成果を発表しています。東日本大震災被災地の石巻市や、女川町(写真はNPOカタリバ)もたびたび訪れ、震災復興に関する研究にも取り組んでいます。



STUDENT VOICE

経営学科4年
斎藤 和樹
埼玉県私立
川越東高等学校卒業
ライオン株式会社内定



ゼミで学んだテーマがきっかけで 就職内定へとつながりました

ゼミでは「中小企業が優秀な人材を確保するためには」をテーマに学んでいます。ゼミの授業は、少人数のディスカッション形式で行われます。学生ならではのユニークな意見がいくつも飛び交い、白熱した議論が繰り広げられとても刺激的です。私はゼミ

での学びがきっかけで、製造業に興味をもち、日用品メーカーへの就職を決めました。将来はゼミで学んだ、どう潜在的ニーズを見つけ、商品の価値をいかに顧客へ伝えるかなどの知識をいかし、画期的な商品を世界へ普及させることが目標です。

「教養科目」と「外国語科目」で基礎学力を身につける



「教養科目」は、専門分野を学ぶための基礎学力を身につけることを目的としています。授業では多様性を理解し、多角的なものごとを見る眼を養うことに力を入れており、社会で働く際に必要不可欠である柔軟な思考力を身につけられるよう多様な科目を配置しています。また、少人数ゼミ形式の「教養演習」や「レポート・論文作成法」があり、論理的に筋道の通った文章を書く能力を養い、論文やレポートの書き方を学びます。さらに、全学部共通の「ICTリテラシー」科目には基礎から応用まで体系的に学びたい人向けの科目から、コンピュータやインターネットをある程度使いこなせて、実践的情報処理能力をさらに高めたい人向けの科目まで幅広く用意されています。

「外国語科目」では、グローバル化する現代社会でますます必要とされている言語感覚・国際感覚を磨きます。経営学部では、入学時に英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国語・日本語(外国人留学生が対象)から2か国語を選択し、2年間必修科目として学習します。また、「もっと勉強したい」という人には、豊富な選択外国語科目が用意されています。1・2年次の英語クラスはTOEIC®スコアをもとに習熟度別に編成され、「使える英語」の習得を目指します。さらに英語能力を高めたい人には、ビジネス社会でいかせる専門的な英語の授業も3・4年次に用意しています。

[経営学部の多彩な教養科目]

THINKING ・社会思想 ・哲学 ・言語思想 ・宗教思想 ・倫理思想 ・哲学基礎論	SCIENCE ・自然科学思想史 ・健康科学 ・生物学 ・自然人類学 ・統計学 ・生理学 ・文化人類学 ・地理学 ・化学 ・物理学 ・数学	
SOCIETY ・心理学 ・政治学 ・西洋史 ・社会学 ・日本事情 ・法学 ・Global Issues ・経営総合講義	EXERCISE ・スポーツ・レジャー・レクリエーション論 ・体育実技 ・トレーニングの科学 ・現代社会とスポーツ	READING & WRITING ・外国文学 ・日本文学 ・手話コミュニケーション ・レポート・論文作成法 ・日本語論

[学部間共通の教養科目]

ICTリテラシー ・ICTベーシック ・ICT統計解析	・ICTデータベース ・ICTメディア編集	・ICTアプリ開発 ・ICTコンテンツデザイン
--	--------------------------	----------------------------

[経営学部の外国語科目]

1・2年次 ・英語 (TOEIC®習熟度別クラス編成) ・ドイツ語 ・フランス語 ・中国語 ・ロシア語 ・韓国語 ・日本語(留学生向け)	1～4年次 (選択外国語科目) ・TOEFL Preparation ・English Exams ・英語スペシャルスタディ ・英語表現論 ・英語コミュニケーション (初級、中級、上級) ・ドイツ語コミュニケーション (初級、中級、上級) ・フランス語コミュニケーション (初級、中級、上級) ・中国語コミュニケーション (初級、中級、上級)
3・4年次 (外国語専門科目) ・外国書講読 ・ビジネス英語 ・ビジネス・プレゼンテーション	

「基礎専門科目」で専門教育の基盤をつくる



「基礎専門科目」は各学科の基礎となる科目です。1年次から履修できる科目も多く、早くから経営学にかかわる専門領域を学べます。自分の問題意識を明確にするために、あるいは広い視野から問題を見つけ出すために、そして深く考え、確かな答えを見つけ出すためには幅広い専門知識が必要となります。1年次での「基礎専門科目」の学びをもとに、2年次での学科選択を行うことで、より深く専門領域に打ち込むことができます。具体的な科目は、大きく分けて「経営学に関する基礎専門科目」、「経営学にかかわる法律を学ぶ基礎専門科目」、「経営の国際化に対応した基礎専門科目」の3つの分野に加え、英語で実施する「基礎専門特別講義」を用意しています。

[設置科目]

分類	科目名
経営学に関する基礎専門科目	・Introduction to Management ・経済原論 ・ビジネス・エコノミクス ・Japanese Economy ・経済史 ・日本経済史
経営学にかかわる法律を学ぶ基礎専門科目	・経営史 ・経営統計学 ・経営基礎数学 ・社会調査法 ・経営社会学
経営の国際化に対応した基礎専門科目	・経営心理学 ・産業生理学 ・経営と環境 ・経済地理学 ・企業の社会的責任論
時代の要請に応じたテーマを取り入れた英語での講義	・情報化社会論 ・ネット・ビジネス論 ・コンテンツ・ビジネス論 ・戦略経営情報システム論 ・経営文献研究 ・ビジネス法 ・手形法・小切手法 ・税法 ・会社法 ・財産法 ・労働法 ・イギリス文化論 ・東欧文化論 ・東南アジア文化論 ・アメリカ文化論 ・中国文化論 ・日本文化論 ・ドイツ文化論 ・フランス文化論 ・海外経営事情 ・基礎専門特別講義

PICK UP 注目授業



Japanese Economy

三上 真寛
専任講師

主な担当科目 ・ Japanese Economy ・ 近代経済学

研究テーマ ・ 組織・制度の経済学

「景気」の正体とは何か？最新の経済動向を判断し分析する

テレビや新聞やインターネットは、おびただしい数の経済ニュースで溢れています。私たちはメディアや身の回りで見聞きした情報を頼りに、漠然とした「景気」のイメージをもっていますが、その正体は一体何でしょうか。家計や企業や政府はどのような影響を受けるのでしょうか。この授業では、マクロ経済学という分野の基礎を英語で学び、日本経済に関連する国内外の経済指標を見ながら、最新の経済動向を自ら判断・分析するための術を身につけます。



今日の乱気流的な経営環境の変化は、企業に多くの変革を迫っています。そのため経営学科では、将来の変化を機敏に読み解き、それに適切に対応できる有為の人材を養成することを目的としています。急速な経済のグローバル化に対応するために国際経営戦略に関する科目や、働き甲斐や雇用問題といったもともと身近な問題に対応するために人的資源のマネジメントに関す

る科目、知識情報化の進展に対応するために情報と技術のマネジメントに関する科目を有機的に配置。理論・歴史・実証といったさまざまな視点から展開しています。さらにゼミナールでは、専門に特化しより深く学んでいきます。みなさんも時代の要請に応えた幅広いカリキュラムを通し、一緒に経営学科で、現代企業を多面的に読み解いていきましょう。

[学科設置科目]

※基礎専門科目 (E)は「英語で実施する専門科目」を示す。

学部共通		経営学科				
1年次		2年次	3年次	4年次	卒業後	
学部必修	経営学 近代経済学 簿記論	学科選択 企業論 経営管理論	学科必修 《理念・文化・歴史》 経営哲学/経営学史 日本経営史/国際経営史 経営文化論/各国文化論※ (英、米、独、中、日、東南アジア、東欧、仏) 《戦略・マーケティング》 経営戦略論 マーケティング・マネジメント グローバル・マーケティング論 Strategic Marketing (E) 《モノ・金・情報とその分析》 生産管理論/経営技術論 ナレッジ・マネジメント論 財務管理論/経営統計学 現代コーポレートファイナンス論 リスクマネジメント論	《人と組織》 経営社会学※/経営組織論 人事労務管理論/雇用関係論 労使関係論/企業内教育論/ 産業生理学※ 《グローバル》 Transcultural Management (E) Comparative Business Management (E) 国際経営論 (E) 比較経営論 (米(E)、中、露・東欧、西欧) 《日本の企業》 Strategic Analysis of Japanese Companies (E) Innovation Strategy in Japan (E) 中小企業論/ベンチャービジネス論 《法律関係》 会社法※など	進路(一例) 経営者・起業家 ベンチャー企業 事業継承 戦略スタッフ 専門職 経営コンサルタント 中小企業診断士 社会保険労務士 色々な業界 メーカー 金融 商社 情報通信 保険 不動産	
	基礎専門 経済原論、経済史、経営史、ビジネス法、 情報化社会論、経営心理学、 経営基礎数学、 Introduction to Management (E) (2年次から)					基礎専門特別講義
		ゼミナール(演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		インターンシップ実習		
経営学特別講義/IBP (International Business Program) Plus / フィールドスタディ / グローバル・サービスマーケティング						

STUDENT VOICE

経営学を通して
世界を知ることが
次のステップへの
後押しに

経営学科4年
藤松 翔
福岡県立筑前高等学校卒業
パナソニック株式会社内定



[私の時間割(4年次)]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	スポーツ・マネジメント論	-	5/日本の企業新報特別A	-
2	経営学特別講義C 経営学特別講義D	-	海外経営事情A 海外経営事情B	-	-	-
3	-	国際経営論A 国際経営論B	コンテンツ・ビジネス論 コンテンツ・ビジネス論	-	演習ⅢA 演習ⅢB	-
4	-	経営社会学A	-	共通専門特別講義B	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	アメリカ文化論	ネット・コンテンツ論	海外経営事情D	-	-
7	-	-	-	-	フィールドスタディD	-

PICK UP

授業

知識をどう創造・活用し共有するか

ナレッジ・
マネジメント論

中西 晶
教授



「ナレッジ」、すなわち知識をどのように創造・活用し、共有していくかは、現代の組織にとって重要な課題となっています。難しく聞こえますが、実は、学生生活でもこれに近いことをやっているのです。明治大学のナレッジ・マネジメントを支える学習システム「Oh-o! Meiji」やインターネットを積極的に活用し、教室内の90分に限定されない授業にしています。

中国の経済と企業を学ぶ

比較経営論
(中国)

郝 燕書
教授



中国はかつて社会主義計画経済体制をとっていましたが、現在、徐々に市場経済に移行しています。本講義では、中国の独自の歴史や特徴をふまえ、改革・開放政策実施後の中国経済と企業経営の現状と問題点を考察します。特に事例研究を通じて、国有企業の改革と再編、民営企業の形成と成長、外資系企業の進出の実態と特徴から経済と企業の理解を深めることを目標にしています。

STUDENT VOICE

[比較経営論 (中国)]

経営学科3年
畑中 未来
千葉県立佐倉高等学校卒業



参加型の授業で中国企業の理解を深めます

「比較経営論(中国)」では、中国企業の経営手法と社会背景を主に学びます。学生自身が研究・プレゼンをすることで議論を重ねながら理解を深めていく参加型の授業です。中国には独自の歴史・文化・経済

状況が存在するため、私が考えていた以上に日本とは異なる経営方法や問題点がありました。現在日本企業が次々に中国に進出しているため、中国企業の特徴を学ぶことができるこの授業はとても有意義でした。



会計は、あらゆるビジネスシーンでもっとも役に立つ経営情報を作成・提供します。世界を舞台に活躍するビジネスパーソンにとって、現地取引先との価格交渉のためのコスト情報や売上・利益の予想等の財務情報は不可欠です。また、金融市場に参加する投資家や債権者にとって、投資リターンの的確な見通しが立たなければお金はお金は出せません。これが「会計はビジネス社会の共

通言語」と呼ばれる理由です。会計学科は、グローバルに展開するビジネス社会へ会計を武器に挑む人材を育成します。会計学は知識を積み重ね、段階的に学ぶ学問です。初學者向けの簿記会計から、公認会計士や税理士等の会計専門職業人に必要となる実践科目まで、段階的に編成されたカリキュラムで会計センスを身につけ、ビジネスの未来を切り拓いてください。

[学科設置科目]

※他学科専門科目で履修を推奨する科目 (E)は「英語で実施する専門科目」を示す。

学部共通		会計学科				
1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後		
学部必修 経営学 近代経済学 簿記論 Basic Accounting (E) ICTリテラシー科目 基礎専門 ビジネス法、経営心理学、 経営基礎数学、 Introduction to Management (E) (2年次から) 外国語 教養演習 ゼミナール(演習I・II・III) インターンシップ実習 会計学特別講義 / IBP(International Business Program) Plus / フィールドスタディ / グローバル・サービスマーケティング	学科必修 財務会計総論 管理会計総論 学科選択 (ディスクロージャー) 財務諸表論 会計監査論 環境会計論 現代会計基準論 NPO会計論 公会計論 中級・上級簿記論(2年) (グローバル) 国際会計論 国際財務報告論 (プランニング&コントロール) 英文会計 Corporate Accounting (E) 原価計算論(2年)	原価管理論 予算管理論 経営分析論 会計情報システム論 生産管理論 (グローバル) 国際会計論 国際財務報告論 英文会計 Corporate Accounting (E) 原価計算論(2年)	会計史 (タックス&ロー) 法人税法 税務会計論 (ストラテジー、マーケティング&オーガニゼーション) Strategic Analysis of Japanese Companies (E) 経営組織論 経営戦略論 マーケティング・マネジメント	中小企業論 [※] ナレッジ・マネジメント論 [※] 国際経営論(アメリカ) (ファイナンス) 財務管理論 [※] 現代コーポレートファイナンス論 [※]	資格職 公認会計士 税理士 国税専門官 企業内 スペシャリスト 企業財務会計士 上級財務 経理担当者 総合職 国際的メーカー 金融 商社 外資系金融	

STUDENT VOICE

興味をもった分野を
あらゆるアプローチから
学ぶことができます



会計学科4年
福田 利香
熊本県立済々黌高等学校卒業
日本コカ・コーラ株式会社内定

[私の時間割(3年次)] 科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	経営統計学A	外国書講読A	-	-	-
2	会計監査論A 会計監査論B	原価管理論A 原価管理論B	コンテンツビジネス論A	-	-	-
3	予算管理論A 予算管理論B	原価計算論I 原価計算論II	演習II A	-	-	-
4	-	-	会計学特別講義A	-	-	-
5	-	経営分析論A 経営分析論B	-	-	-	-
6	-	労働法	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-

Q 明治大学経営学部の魅力とは?

Answer 選択した学科だけではなく、学科の垣根を越えてさまざまな分野の経営学を自主的に学べるところです。会計学科に所属しながら、ゼミナールでは公共経営学科の企業のCSRについて研究しました。授業では経営学科の専門科目も履修しています。このように、興味のある分野をいろいろな側面から学ぶことができるのは、経営学部の魅力だと思います。

Q 会計学科を選んだ理由は?

Answer 父が会計専門職に従事しており、仕事姿を小さい頃から見てきました。その父の姿へのあこがれがきっかけで、会計学科を志すようになりました。経済を読み取るには、その中心を担っている会計を理解することが必要不可欠です。企業経営を支えることのできる会計学を身につけることは、社会人になっても活用できる有用な知識だと考えています。

Q 印象に残っている授業は?

Answer 森久教授の「経営分析論」です。会計の知識を応用し、実際の企業が開示している会計情報の数値から経営状況を読み取る方法を学びました。これまで顧客目線で見ていた企業を、経営目線で分析することを新鮮に感じ、また会計の知識を実用的にアウトプットできたことに感動しました。

PICK UP 授業

会社を判断する力を養成する

経営分析論

会社の財務諸表は、高校の成績表のようなものです。成績表にはひとつの学期の成果が表され、どの教科が得意で、努力すべきことは何かを示されています。同様に、財務諸表を見ればその会社の様子もわかります。そのため財務諸表は、経営者や管理者ばかりでなく株主や投資家、債権者など多くの人にとって役立つものなのです。授業では、自分で会社を判断する力を養います。

森久
教授



経営行動をチェックできる力を養成する

会計監査論

東芝のような企業不祥事はなぜ起こるのでしょうか? 株式会社は投資家に対して、会社の成績表ともいえる財務諸表という形で経営の結果を報告します。経営者は成績をよく見せるために不正を行う可能性があるため、会社の財務諸表にいわば「お墨付き」を与えるのが監査の役割です。会計監査論では、監査という行為が経済社会で果たしている役割について学びます。

小俣 光文
教授



STUDENT VOICE

[会計監査論]

会計学科3年
渡邊 南美
福島県立安積高等学校卒業



個人投資家の判断を助ける「監査」を学ぶ

みなさんは「監査」を知っていますか。企業は存続のためにさまざまな活動を行いますが、この資金の源泉は私たち個人投資家による出資です。「監査」には、企業が提出する財務諸表等を、会計の専門家である

公認会計士がチェックすることで、みなさんが投資するか否かの判断を助けるという役割があります。会計監査論では、この「監査」について、小俣教授が分かりやすく教えてくださいます。



「公共経営」(パブリック・マネジメント)は、一般的には公的組織に「経営」の発想を導入することで、効率的・効果的な行政運営を実現する活動として理解されています。しかし近年、「新しい公共」の担い手として期待が高まる非営利組織(NPO)や社会的企業・協同組合も「公共経営」の中に位置づけられる傾向にあります。「公共経営」は、NPOを含む幅広い公的組織のマネジメントを、経営学のアプローチから扱う学問領域として発展しているのです。公共経営学科では行政組織に加え、医療・福祉・

教育、まちづくり、環境保全、国際協力、公的施設・スポーツ組織の運営など、幅広い公共サービス分野のNPO等のマネジメントについて学びます。科目は新しい公共性の基礎を学ぶものから実際の活動に関する具体的なマネジメント論まで多彩に設置。卒業後の進路をNPO、行政、パブリック・ビジネスの3つのマネジメントに方向を定めてカリキュラムを設けています。実践的教育プログラムを導入し、産学連携による非営利セクターの人材育成に取り組んでいるのです。

[学科設置科目]

(E)は「英語で実施する専門科目」を示す。

学部共通		公共経営学科			
1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後	
学部必修 経営学 近代経済学 簿記論 基礎専門 ビジネス法、経営心理学、 経営基礎数学、 Introduction to Management (E) (2年次から)	学科必修 公共経営学 行政経営論 【思想・歴史・文化・生活】 公共歴史論、 公共表現行為論 現代健康論	公共思想論 生活文化論 地域公共論 情報公共論 【理論・セクター論】 非営利組織論 社会的企業論 公共ガバナンス論 公共セクター経済論 公益事業論 国際公共経営事情	【戦略論・各種マネジメント】 NPO経営戦略論 自治体マネジメント論 福祉医療マネジメント論 スポーツ・マネジメント論 アウトドア組織マネジメント論 ライフスタイルマネジメント論 コミュニティ・ビジネス事情 国際協力NGO論	【マーケティング・ファイナンス・会計・評価】 公共マーケティング論 スポーツマーケティング論 ソーシャル・ファイナンス論 NPO会計論 社会会計論 公会計論 自治体財政分析論 行政評価論	進路(一例) 公共セクター 国家公務員 地方公務員 公企業職員 など 非営利セクター NPO法人 公益財団・社団法人 学校法人 協同組合 など 企業セクター 民間企業 スポーツビジネス 介護ビジネス など
ICTリテラシー科目		Introduction to Public Management (E)			
外国語		基礎専門特別講義			
教養演習		外国書講読、ビジネス英語、ビジネス・プレゼンテーション			
		ゼミナール(演習I・II・III)			
		インターンシップ実習			
		公共経営学特別講義/IBP(International Business Program) Plus/フィールドスタディ/グローバル・サービスラーニング			

STUDENT VOICE

経営学から教養科目まで
興味のある分野を
幅広く学べます



公共経営学科3年
植松 真里奈
東京都私立跡見学園高等学校卒業

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	外国書講読A 外国書講読B	-	スポーツマネジメント論 教育マネジメント論	-	-	-
2	イギリス文化論	ソーシャル・ファイナンス論	非営利組織論	-	-	-
3	公共ガバナンス論A 公共ガバナンス論B	ベンチャービジネス論	演習II A 演習II B	企業の社会的責任論	-	-
4	-	-	-	心理学B	-	-
5	-	-	日本文学(現代)	経営心理学B	ビジネスエコノミクスA	-
6	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-

Q 明治大学経営学部の魅力は?

Answer 経営学部では、ゼミの研究分野が多岐にわたり展開されているため、自分の学びたい分野を見つけることができます。また、経営学はもちろん、レポートの書き方から文学などの教養科目まで、学科以外の科目を幅広く学べることも魅力です。本学部には全国各地から個性豊かな学生が集まっており、刺激し合いながら学べることも大きな特長だと思います。

Q 公共経営学科を選択した理由は?

Answer 高校生の頃に、世界の貧困地域の子供たちを支援するNPO団体の活動をテレビ番組で見たことがきっかけで、NPO・NGOに興味をもつようになりました。公共経営学科では、社会問題の解決を目的としている非営利組織についてくわしく学ぶことができます。また、私が大好きなスポーツに関するマーケティングについて学べることも魅力に感じました。

Q 印象に残っている授業は?

Answer 「スポーツマーケティング論」です。授業では、さまざまなプロスポーツチームが行っているファンサービスや情報発信のインパクトなどについて、実際の映像を見ながら学びます。スタジアムの構造や広告にも注目し、マーケティングの視点でもスポーツを楽しめるようになりました。

PICK UP

授業

スポーツに生起するマネジメントを学ぶ

スポーツ・
マネジメント論

2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズと、3つのメガ・スポーツイベント開催を控える日本。一方、少子高齢化や経済不況といった社会問題を抱え、スポーツ環境は新たな局面を迎えつつあります。この授業では、スポーツに生起するさまざまなマネジメントについて、組織や一人ひとりがどう携わるかを学びます。

田中 充洋
教授



今の時代に必要不可欠な情報財を学ぶ

情報公共論

20世紀後半期の情報技術による革新の結果、今では情報産業が鉄鋼業や自動車産業よりも大きくなるとともに、情報技術が社会の中心的基盤を構成するようになりました。実際、多くのスマホで利用されているGoogleのAndroid OSも、ソースコードを公開し誰でも利用できるオープンソースソフトウェアです。こうした時代において、必要不可欠な公共的情報財を学びます。

佐野 正博
教授



STUDENT VOICE

[スポーツ・マネジメント論]

公共経営学科3年
宇津宮 圭
北海道札幌市立
清田高等学校卒業



経営学の側面からスポーツを観る

この授業では、スポーツを取り巻く環境や球団の取り組みについて、経営学的な視点から学ぶことができます。特に印象的だったのは、川崎フロンターレの地域に密着したクラブチーム作りというケーススタ

ディです。この授業を受講して、集客方法やイベント企画などの経営学の面からもスポーツを観る力が養われました。このような経験ができるのも、公共経営学科のひとつの特長だと思います。

経営学部・教員と研究テーマ

経営学部は、経営・会計・公共経営の3学科に加え、学科の枠を超えて学べる共通科目の専任教員、特任教員、計70名で構成されています。授業やゼミナールでは、有益なアドバイスを与えてくれる教員として、時には学生生活や将来の進路について相談に乗ってくれる人生の先輩として、みなさんの夢や目標を応援します。

経営学科

① 主な担当科目 ② 研究テーマ

<p>小笠原 英司 教授</p> <p>① 経営哲学 ② 経営の経営哲学的研究</p> <p>実務の世界では「答え」が求められますが、大学では「問い」が重視されます。問いを学んでください。</p> 	<p>安部 悦生 教授</p> <p>① 経営史、経営文化論 ② 経営の国際比較</p> <p>人生は、運・能力・努力で決まる(安部の右手の法則)。努力が起点となって、能力を伸ばし、運を呼び込む。</p> 	<p>坂本 恒夫 教授</p> <p>① 財務管理論、現代コーポレートファイナンス論 ② 市場のダイナミズムと財務の研究</p> <p>経営学部は本当に面白い学部です。将来に迷いや不安を抱えている諸君はぜひ、本学部に挑戦してみてください。</p> 
---	--	--

<p>東條 由紀彦 教授</p> <p>① 日本経営論 ② 日本経営についての実証研究</p> <p>友の来るにまかせよ、そして友について語るのではなく、友に対して語りかけよ。</p> 	<p>平沼 高 教授</p> <p>① 企業内教育論 ② 先進工業諸国の技能者養成</p> <p>職人は国境を越え諸国を遍歴し修行を積みました。諸君も世界に飛び出し遍歴と修行を積みましょ。</p> 	<p>黒田 兼一 教授</p> <p>① 人事労務管理論 ② 日本の人事労務管理</p> <p>太陽の光と風のそよぎを肌で感じながら、世界と日本と自分のことを友人や教員と語り、本物の勉強をしましょう。</p> 	<p>遠藤 公嗣 教授</p> <p>① 労使関係論 ② 雇用関係・労使関係と賃金および人事査定制度</p> <p>社会を深く理解できるよう、力をつけよう。</p> 
---	---	--	---

<p>高橋 正泰 教授</p> <p>① 経営組織論 ② 組織ディスコースの研究</p> <p>ものごとを論理的に考える力を養ってください。</p> 	<p>大石 芳裕 教授</p> <p>① グローバル・マーケティング論 ② グローバル・マーケティング</p> <p>グローバル時代に対応できる人材の育成に注力している。10年後、20年後を見据えた人生設計をして欲しい。</p> 	<p>加藤 志津子 教授</p> <p>① 比較経営論(ロシア・東欧) ② ロシア・東欧の企業の制度と実態</p> <p>ロシア・東欧諸国の企業は独自の歴史・文化を背景としてユニークな発展を遂げつつあります。</p> 	<p>佐々木 聡 教授</p> <p>① 日本経営史 ② 日本の経営発展の実証的研究</p> <p>実際の日本の企業や企業家・経営者による「革新」について学び、近未来の企業像を展望する授業内容です。</p> 
---	---	--	--

<p>岡田 浩一 教授</p> <p>① 中小企業論 ② 中小企業問題の理論と実証研究</p> <p>日本企業の99%以上は中小企業です。中小企業を語らずして日本企業を語れません。一緒に研究しましょう。</p> 	<p>郝 燕書 教授</p> <p>① 比較経営論(中国) ② 中国と日本の経済・経営の比較研究</p> <p>[中国の格言] 成功者找方法 失敗者找理由/成功者は方法を考え、失敗者は言い訳をする。</p> 	<p>牛丸 元 教授</p> <p>① 企業論 ② イノベーションを創出する企業間関係</p> <p>知的フィールドで思いっきり可能性を広げてください。</p> 	<p>中西 晶 教授</p> <p>① 経営心理学、ナレッジ・マネジメント論 ② 経営における人間と技術、高信頼性組織</p> <p>自分とは何か、組織とは何か、社会とは何か、深く、多面的に考え、ともに語りましょ。</p> 
--	--	--	--

<p>松野 裕 教授</p> <p>① 経営と環境 ② 環境政策の経済学的研究</p> <p>大学生がやるべきことはただひとつ。卒業したあとに何を考えるか。</p> 	<p>歌代 豊 教授</p> <p>① 経営戦略論 ② 経営戦略のマネジメント</p> <p>企業だけでなく個人にとっても「戦略」が不可欠です。将来に向けての「自分らしい戦略」を創りましょ。</p> 	<p>青木 克生 准教授</p> <p>① 経営管理論 ② 製造業におけるカイゼン活動の国際比較研究、企業間関係とイノベーション、組織学習の理論的研究</p> <p>国際化する時代にあって日本企業の真の強みは何であるのか、というテーマを学生諸君とともに学んでいきます。</p> 	<p>清水 一之 准教授</p> <p>① 比較経営論(西欧) ② コーポレート・ガバナンス「企業の社会的責任(CSR)」</p> <p>「One for All, All for One」(ひとりみんなのために、みんなはひとりのために)。一緒に勉強し、将来を勝ち取ろう!</p> 
---	---	---	---

<p>鷲見 淳 専任講師</p> <p>① 国際経営論、Introduction to Management ② グローバル化と企業の国際経営</p> <p>グローバルな視点と日本の視点を対比することを通して、世界、日本、そして自分を語らましょ。</p> 	<p>三上 真寛 専任講師</p> <p>① 近代経済学、Japanese Economy ② 組織・制度の経済学</p> <p>大学生活は可能性に満ちています。さまざまな学問にふれて、たくさんの方に会って、何事にも挑戦しましょう。</p> 	<p>近藤 光 助教</p> <p>① 経営学、経営文献研究 ② 半導体産業発展の歴史的考察と国際比較、産業の共進化と技術革新</p> <p>何事にも挑戦する積極性と、特定の考えに固執しない柔軟性を身につけましょ。</p> 	<p>宮田 憲一 助教</p> <p>① 経営学、国際経営史 ② 大企業の成長と国際化、経営構想力</p> <p>幅広い知識と教養を学びながら、世界を「遊ぶ」ためのGREATな力を身につけていこう!</p> 
--	---	---	--

金 奉周 助教

① 教養演習、経営文献研究、外国書講読
② 企業の国際化活動要因の操作化

たくさん悩み、たくさんチャレンジし、自分自身を成長させてください。



会計学科

① 主な担当科目 ② 研究テーマ

森 久 教授

① 経営分析論
② 財務業績に対する管理会計の貢献

学内には、明治大好き人間が溢れています。熱い思いをもって、ともに「前へ」歩みましょ。



崎 章浩 教授

① 原価管理論、管理会計総論
② 管理会計法の理論と実務の乖離

学問を含めて自由に学べるのは大学時代です。ぜひ、本学に入学して自由な雰囲気の中で学び、将来の夢を見つけてください。



大倉 学 教授

① 国際会計論、財務諸表論
② 国際会計—概念的枠組研究—

新しいことを知るよこび、そしてそれをさまざまな視点から考える楽しさをともに経験しましょ。



鈴木 研一 教授

① 予算管理論 ② マーケティング管理会計(固定収益会計)、マネジメント・コントロールにおける心理的相互作用、プロジェクトのマネジメント・コントロールシステム、イノベーションプログラムのための管理会計、管理会計と社会的責任

I have a dream.(私には夢がある) by Rev. Martin Luther King, Jr.



千葉 貴律 教授

① 環境会計論
② 環境会計と組織のインターフェイス

和泉〜駿河台キャンパスのエコウォーキングに参加しませんか?



石津 寿恵 教授

① 財務会計総論、NPO会計論
② 営利企業、非営利企業における利益概念

好きな言葉は「努力は裏切らない」。そして経営学部のキャンパスライフは「受験生の努力を裏切らない」。



小俣 光文 教授

① 会計監査論、中・上級簿記論 ② 監査制度の有効性の向上、モニタリング機能を中心とした企業ガバナンス向上

大学時代は一生つき合える友人をつくる絶好の機会です。よく学び、よく遊び、たくさん友人をつくらせて有意義な大学生活を送ってください。



水野 忠恒 教授

① 法人税法、税法
② 組織再編成税制、事業体課税

自分で何か探してみましょ。



大槻 晴海 准教授

① 管理会計総論
② 原価企画に関する理論的・実証的研究

管理会計って知ってますか? 未知なるものへの好奇心から、新しい道が開かれます。学び問うことを楽しましょ!



長野 史麻 准教授

① 原価計算論
② マネジメントコントロールとCSR

みなさんの可能性は無限です!



浅野 千鶴 専任講師

① 現代会計基準論
② 会計基準における基礎概念の研究

会計学について語り合いましょ!



平屋 伸洋 専任講師

① 国際財務報告論、財務会計総論
② 資本コストと利益マネジメントの関係

学問とは「学び問う」、「問うことを学ぶ」ことです。大学では物事を広く学び、その真理を探らましょ。



公共経営学科

① 主な担当科目 ② 研究テーマ

星野 敏男 教授

① アウトドア組織マネジメント論
② 野外教育に関する研究

多様なものの見方、考え方を学ぶとともに生涯の友・仲間を得ることを望みます。



居駒 永幸 教授

① 日本文学、生活文化論
② 日本古代文学および民俗文化の研究

言葉は世界を変える、といひます。そんなリアルなこゝばに出会ってください。



藤江 昌嗣 教授

① 経営統計学、行政評価論、近代経済学
② 移転価格論・移転価格税制、行政組織のパフォーマンス・メジャメント、地状学

現象を理論で大きくつかむとともに、統計学という道具を用いてデータでも証明する大学での学びは楽しいものです。



八田 隆司 教授

① 哲学、公共思想論
② 近・現代哲学と公共思想

他者とのかわりななかで、自分をつくり、自分の夢をもってください。



佐野 正博 教授

① 情報公共論、技術戦略論
② 技術革新論

学び問うという作業を通じて、豊かな教養と知性を築きましょ。やる気のあるみなさんの入学を待っています。



鈴井 正敏 教授

① ライフスタイル・マネジメント論
② ライフサイエンス

大学は自分の可能性に挑戦するところ。いろいろなものに興味を抱く好奇心と、それにトライするバイタリティを磨いてください。



中西 貢 教授

① リスク・マネジメント論
② ミクロおよびマクロデータの分析

学生生活の4年間は、長いようで短い。達成感を味わえるよう、しっかりと目的をもって過ごしてください。



薩摩 秀登 教授

① 西洋史、公共歴史論
② ヨーロッパ中近世史

視野を大きく世界へ広げてください。地球上には、さまざまな生き方・考え方があっていいことを忘れず。



塚本 一郎 教授

① 非営利組織論
② NPOと社会的企業に関する研究

周りに流されずに、自分自身で考える力と行動する力を身につけてください。



<p>田中 充洋 教授</p> <p>① スポーツ・マネジメント論 ② ボールゲームのコーチング論</p> <p>みなさんとスポーツの素晴らしい瞬間を共有できることを楽しみにしています。</p> 	<p>阿部 卓 准教授</p> <p>① 自然人類学、地域公共論 ② バリ島、雲南少数民族の人類学的研究</p> <p>あたり前の世界から少しでも抜け出せば、新しい世界が見えてきます。大学時代がその大きなチャンスです。</p> 	<p>小関 隆志 准教授</p> <p>① 公共経営学、NPO経営戦略論、ソーシャルファイナンス論 ② マイクロファイナンスによる金融包摂</p> <p>明治大学経営学部で社会へ幅広い視点を持ち、豊かな経験を積んでください。待っています。</p> 	<p>畑中 基紀 准教授</p> <p>① 公共表現行為論、日本文学 ② 近代日本文学、表現論</p> <p>失敗を経験せずに成功した人はいません。どんな失敗しましょう。</p> 
--	--	---	--

<p>菊地 端夫 准教授</p> <p>① 行政経営論、国際公共経営事情 ② 公共政策、行政マネジメントの比較研究</p> <p>楽しみなくして得るものなし。公共経営を学ぶ醍醐味と楽しみを一緒に味わいましょう！</p> 	<p>関 正雄 特任准教授</p> <p>① 企業の社会的責任論 ② 企業と社会—共通価値の創造に関する研究—</p> <p>社会の課題解決のために、「自分で考え行動する力」をつけてください。</p> 	<p>金子 郁容 特任講師</p> <p>① 公共ガバナンス論 ② 公共ガバナンス、ソーシャルイノベーション</p> <p>学問も実践も「何かおかしいぞ」という“心のざざ波”を出発点にして進めてください。</p> 	<p>共通科目</p> <p>① 主な担当科目 ② 研究テーマ</p>
--	---	--	--

<p>小林 信行 教授</p> <p>① ドイツ語、ドイツ文化論 ② ドイツロマン主義・観念論の芸術哲学、歴史哲学、自然哲学</p> <p>大学での勉学はstudiumである。それは単なる勉学でなく、主体的な研究とそれを通じた自己研鑽であることを銘記せよ！</p> 	<p>守屋 宏則 教授</p> <p>① 中国語、中国語コミュニケーション ② 中国語学（文法論・語彙論）</p> <p>経営学部に入って「教養豊かなプロフェッショナル」を目指しましょう！</p> 	<p>川竹 英克 教授</p> <p>① フランス語、フランス文化論 ② フランス文学および思想</p> <p>好奇心こそみなさんが大学で学ぶときの資産です。自ら知りたいことやりたいことを発見してください。</p> 	<p>戸村 佳代 教授</p> <p>① 日本語 ② 日本語教育・日本語学</p> <p>自分の力を信じて、未来の可能性を広げる努力を続けてください。</p> 
---	---	---	--

<p>福満 正博 教授</p> <p>① 中国語 ② 中国文化</p> <p>近年の中国経済の発展は、目を見張るものがあります。日本の貿易相手でも、アジア地域の占める割合は想像以上に大きいです。みなさん、アジアにもっと目を向けましょう。</p> 	<p>藤本 佳久 教授</p> <p>① 数学、経営基礎数学 ② 複素力学系の研究</p> <p>高校数学とはひと味違った「経営数学」を勉強しましょう。</p> 	<p>辻 昌宏 教授</p> <p>① 英語、外国文学（英米） ② 英語、イタリア詩における音韻構造</p> <p>ゆったりとした気持ちで学びましょう。</p> 	<p>宇野 毅 教授</p> <p>① 英語、イギリス文化論 ② イギリス社会論（イギリスの社会と文化）、現代イギリス論</p> <p>Where there is a will, there is a Way!</p> 
---	---	--	---

<p>山下 佳江 教授</p> <p>① 英語、TOEFL® Speaking ② 日韓英の比較言語研究、英語ライティングの技法研究</p> <p>留学を考えている学生の方はぜひTOEFL®のクラスを履修し、早めに準備を始めましょう。</p> 	<p>井 洋次郎 教授</p> <p>① ビジネス・プレゼンテーション、英語 ② ビジネス・コミュニケーション</p> <p>広い教養、豊かな感受性、高い見識をもつ人間になることを目指してください。</p> 	<p>中澤 高志 教授</p> <p>① 経済地理学 ② 労働の地理学、現代日本の地域構造・都市構造の変容</p> <p>大学で学ぶ地理学は、暗記物の「地理」とは違います。大きな可能性をもった自由な学問です。</p> 	<p>瀧井 美保子 准教授</p> <p>① ドイツ語、外国文学（ドイツ） ② ドイツの文化・文学・思想・解釈学</p> <p>社会の風潮に流されず、あなたらしく（人間らしく）生きるための核心を、大学でしっかりとつかんでください。</p> 
--	--	--	--

<p>山下 充 准教授</p> <p>① 経営社会学 ② 人的資源管理の歴史・国際比較、人事部門の機能と歴史</p> <p>社会現象を多角的、多面的に理解し、新しい世界観を見つけてください。</p> 	<p>織世 万里江 准教授</p> <p>① 英語、教養演習（テーマ：英語演劇）、演習（テーマ：多元文化論） ② 英文学、文芸創作</p> <p>生計のことを考えなくてもいいなら、あなたはどんなことをしたいでしょうか。今日からその夢を生きてください。</p> 	<p>折方 のぞみ 准教授</p> <p>① 比較文化論、フランス文学 ② フランスの文学と思想、フランス語</p> <p>異文化を学ぶことは新しい世界観を学ぶことです。他者への好奇心は自分の可能性をぐんと広げてくれますよ！</p> 	<p>一之瀬 真志 准教授</p> <p>① 生理学、トレーニングの科学、産業生理学 ② 運動生理学</p> <p>生体機能は運動中にもっとも活性化されます。運動という「窓」を通じて、生体の驚異の機能を探究しましょう。</p> 
--	--	--	--

<p>キアナン・パトリック 准教授</p> <p>① 英語、Global Issues ② 言語と異文化コミュニケーション</p> <p>英語を上達させるには、それを自分のものにする必要があります。活発に学びましょう。</p> 	<p>ブラッドフォード・アネット 特任講師</p> <p>① Global Issues, IBP Plus ② Internationalization of Higher Education, English-medium Instruction, International Education Policy, Intercultural Communication</p> <p>Global and cultural awareness are essential for success in today's interconnected world. With knowledge about issues that affect us all, and skills to work with people from across the world, we can become true global citizens.</p> 
--	---

早期卒業制度

経営学部では、在学3年間で大学卒業「学士の学位取得」を可能とする早期卒業制度を導入しています。たとえば、大学院進学を希望する学生にとっては高度な専門的教育を、国家試験に合格した学生にとっては専門職として技能を磨くことを、どちらも早期に実現可能にします。2016年3月には2名の学生がこの制度を利用して経営学部を卒業しました。



[過去の早期卒業生数]

2015年度：2名	2012年度：1名	2009年度：2名
2014年度：3名	2011年度：2名	2008年度：3名
2013年度：1名	2010年度：2名	2007年度：10名

STUDENT VOICE

貴重な時間を有効に使える制度です



板橋 好紀

会計学科
2016年3月早期卒業
明治大学専門職大学院会計専門職研究科に進学

入学前から大学院進学に興味があり、貴重な時間を有効に使うことができる、この早期卒業制度をぜひ利用したいと考えていました。公認会計士試験を控えていたこともあり、両立が非常に大変でしたが、多くの仲間を支えられ、成し遂げることができました。大学入学はゴールではありません。受験生の皆さんもこの制度を利用することで、将来に向かって一歩踏み出してみませんか。

大学院経営学研究科・専門職大学院

大学院では海外協定校連携、国際化対応のための英語による授業など、大学院改革の先例となるさまざまな対応策を実現しつつあります。駿河台キャンパスではグローバルフロントに教育・研究拠点を移し、施設・設備の改善にも取り組んでいます。

経営学を究める大学院経営学研究科

■リサーチコースとマネジメントコース

明治大学大学院経営学研究科は博士前期課程と博士後期課程に分かれており、前期課程にはリサーチコースとマネジメントコースがあります。リサーチコースは、経営学・会計学分野の特定テーマを深く探究する研究者を育成することを目的としたコースで、博士後期課程につながります。修了した者の多くが、経営・会計の専門家や研究者として幅広く活躍しています。

一方、マネジメントコースは社会人を対象としたコースで、一度社会に出た人が能力をブラッシュアップして実務の世界でさらなる活躍を目指すことを目的としています。原則として3年以上の実務経験を有する社会人を対象としています。このコースでは、社会人が研究しやすいよう開講時間を夜間および土曜日に設定しています。

■ダブルディグリー・プログラム

2010年度よりマレーシア工科大学（UTM）、2013年度から韓国のウソン大学とのダブルディグリー・プログラムを開始しました。このプログラムは、経営学研究科に在籍しながら相手方の大学の修士（UTM：経営管理工学、ウソン大学：経営学）を取得することができます。

社会で活躍するスペシャリストを目指す専門職大学院

■会計専門職研究科（会計大学院）

公認会計士や税理士などの「高度職業会計人」の資格取得のためには、国家試験合格が義務づけられています。しかし近年は単に国家試験に合格するだけでなく、会計学以外の専門知識も豊富で、国際的なコミュニケーション能力をもち合わせ、論理的かつ倫理的な思考能力も高い「高度職業会計人」として活躍することが求められています。

■ガバナンス研究科（公共政策大学院）

少子高齢化、経済変動、地方分権、グローバル化の進展が叫ばれて久しい日本ですが、このような社会の変化に対応することを念頭に、広範な知識を備えた専門家教育を目指します。コースは目的に応じて、政治・行政・公務員育成の3つに分かれ、また社会人の利便性を図るためにインターネットでの授業配信も実施しています。

■グローバル・ビジネス研究科（ビジネススクール）

日本企業が多くの困難に直面する現在、環境の変化に対応する能力だけでなく、自ら変化を先取りして、革命を引き起こしていく能力が求められています。グローバル・ビジネス研究科は、進取な気質と旺盛な企業家精神、そして急激な環境変化に対応しうる柔軟性をもった、ビジネスプロフェッショナルの育成を目指す MBA プログラムです。

就職サポート

就職キャリア支援事務室による全学部を対象とする支援行事のほかに、1~3年生を対象に経営学部独自の就職セミナーを開催し、きめ細かい就職支援を行っています。大きな特色として、経営学部には「ジュニア・キャリア・アドバイザー（JCA）制度」があり、就職活動を経験し内定を得たばかりの経営学部4年生が、JCAとして経営学部の後輩のために就職セミナーを中心に、学部と連携し直接就職支援を行っています。

経営学部就職セミナー2015開催～自分の夢を実現させる就活をしよう～

「経営学部4年生に聞く ～成功のための『気づき』をあなたに～」

4年生が経験した成功・失敗談などを直接聞ける、個別ブース形式の相談会を実施します。1対1で突っ込んだ話のできるアットホームな相談会です。参加した方には、2015年度JCA（ジュニア・キャリア・アドバイザー）が作成した就活体験記をプレゼント！ JCAの就職活動中の生の体験、本音が書かれた貴重な体験記です。毎年経営学部の3年生から、「この体験記を就職活動で悩んだ時に読み本当に役立ちました」との声を多数いただいています。

- 受講した学生の声
- 「とても丁寧かつ具体的にアドバイスをいただいた。自己分析や面接について、なにをやればいいのか明確になった。頑張っていこうと思うことができた。」
 - 「就活の一般的な流れや話を先輩から直接聞くことができ、今まで悩んでいたことが解消された。」
 - 「直接話を聞いて良かった。温度感など、冊子や情報だけではわからないことが感じられたし、学ぶことができた。」
 - 「JCAの方がアットホームな雰囲気でのいろいろな質問に答えてくれたので、自分が不安に思っていることを質問できる機会となった。」
 - 「想像しなかった就活を実感して、自分の活動のビジョンが少し見えてきた。」
 - 「大満足。説明会では聞けなかった内容を聞くことができた。」
 - 「何も分からない状態で参加したので、1から教えていただき、とても参考になった。」
 - 「ひとつ年上ということもあり、気楽になんでも質問できた。体験記もあってよかった。」



STUDENT VOICE

「百聞は一見に如かず」 多くのことに挑戦してください



草野 綾香
会計学科4年
栃木県立宇都宮女子高等学校卒業
税理士法人 山田&パートナーズ内定

「社会で働く」とはどういうことなのか、を感じたくて、大学2年次にインターンシップへ参加しました。当時は自分が進む業界を決めていなかったため、一通り各部署の仕事を体験できる企業へ行きましたが、みなさんにもこのやり方をお勧めします。アルバイトとはまったく違うので、自分の長所や短所を再確認できたり、新たな面を発見できたりします。「百聞は一見に如かず」です。興味がないからと決めつけずに、多くのことに挑戦して後悔のない就職活動、そしてキャンパスライフを送ってください。

資格取得

経営学部では資格取得に注力しており、TOEIC®やTOEFL®テスト（ITP）の実施、TOEFL®テスト（iBT）や簿記検定試験の受験料補助など、資格取得に関する事項に取り組んでいます。また、本学設置の教職課程を履修することにより、教育職員免許状を取得することも可能です。

所定の単位数を修得すれば取得可能な資格
・中学校教諭一種免許状「社会」
・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」「公民」「商業」
・学芸員・社会教育主事補・司書・司書教諭

■資格取得の支援サポート

経理研究所 半世紀以上の歴史をもち、多くの公認会計士を輩出。日商簿記検定1~3級合格を目指す簿記講座と公認会計士試験合格を目指す会計士講座を開講し、学習に最適な支援サポートがあります。

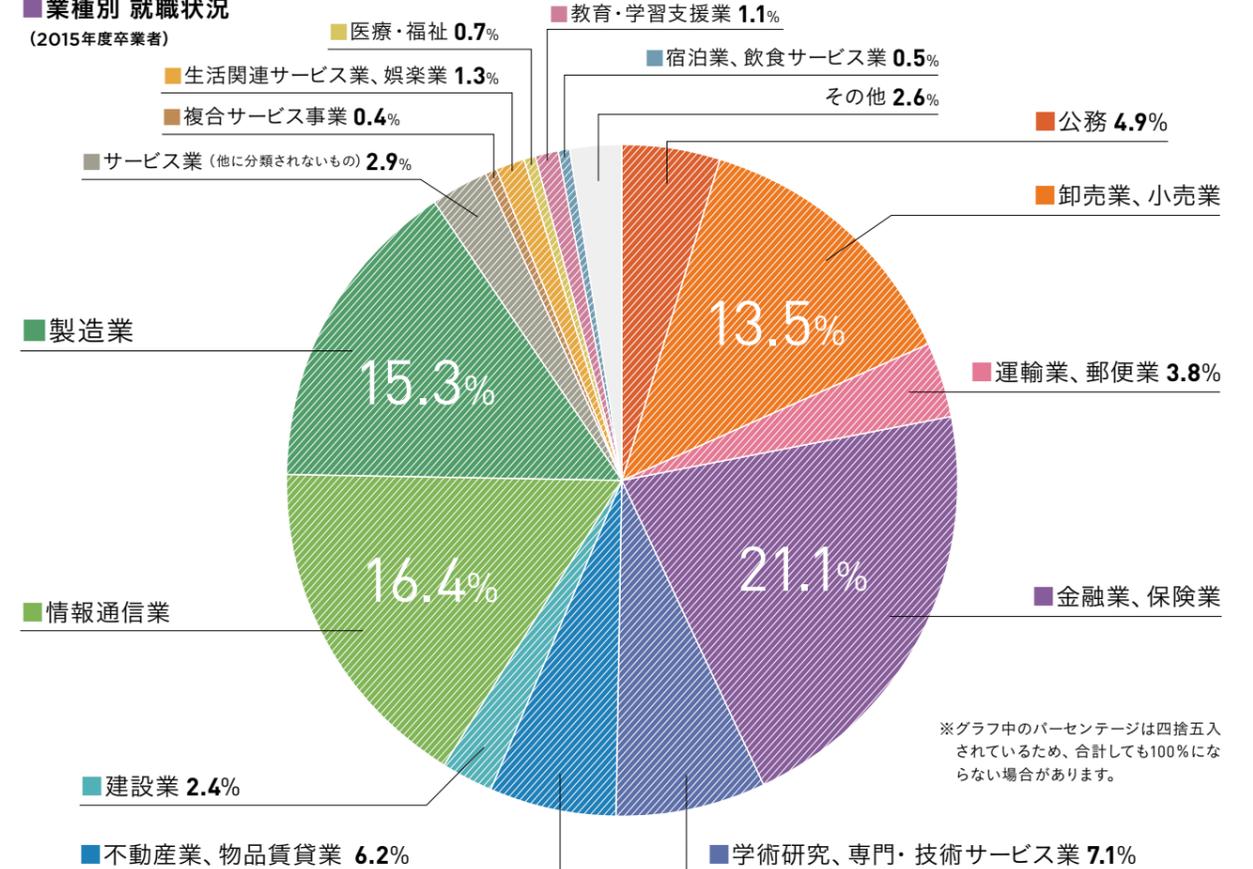
[経理研究所主催講座案内]

	開講時期	講座内容
学内講座	試験日に合わせて設定	簿記1~3級および企業法
提携専門学校講座	7月・2月	会計士本科（7科目）

就職実績

社会で必要とされる実践力を身につけた経営学部生はその能力が高く評価され、製造業、金融、情報通信、監査法人、公務員など幅広い分野で就職実績を残しています。

■業種別 就職状況 (2015年度卒業生)



■主な就職先企業・団体名

金融業、保険業	製造業	情報通信業	公務
・損害保険ジャパン日本興亜株式会社	・パナソニック株式会社	・日本放送協会	・警視庁
・株式会社みずほフィナンシャルグループ	・オリンパス株式会社	・千葉テレビ放送株式会社	・東京消防庁
・株式会社三菱東京UFJ銀行	・富士ゼロックス株式会社	・株式会社毎日新聞社	・防衛省
・東京海上日動あんしん生命保険株式会社	・キヤノン株式会社	・東日本電信電話株式会社	・東京特別区
・野村證券株式会社	・株式会社村田製作所	・株式会社NTTドコモ	・群馬県庁
・明治安田生命保険相互株式会社	・大日本印刷株式会社	・楽天株式会社	・千葉市役所
・三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	・凸版印刷株式会社	・株式会社サイバーエージェント	・浦安市役所
・リソナグループ	・本田技研工業株式会社	・日本マイクロソフト株式会社	・長崎市役所
・株式会社秋田銀行	・富士重工業株式会社	・日本オラル株式会社	・函館市役所
・株式会社若手銀行	・ライオン株式会社	・日本アイ・ビー・エム株式会社	・国税専門官
・株式会社千葉銀行	・株式会社LIXIL	・各種サービス業、娯楽業	・国家公務員 一般職
・株式会社静岡銀行	・キリン株式会社	・株式会社電通	・建設業
・株式会社横浜銀行	・サントリーホールディングス株式会社	・株式会社読売広告社	・清水建設株式会社
・株式会社北陸銀行	・コカ・コーライーストジャパン株式会社	・アクセンチュア株式会社	・旭化成ホームズ株式会社
・株式会社常陽銀行	・山崎製パン株式会社	・株式会社ジェイティビー	・その他
・株式会社伊予銀行	・日清食品ホールディングス株式会社	・株式会社エイチ・アイ・エス	・全日本空輸株式会社
・株式会社福岡銀行	・卸売業、小売業	・有限責任あずさ監査法人	・日本航空株式会社
・ユーシーカード株式会社	・住友商事株式会社	・新日本有限責任監査法人	・東日本旅客鉄道株式会社
・三井住友海上火災保険株式会社	・株式会社ファーストリテイリング	・不動産業、物品賃貸業	・東海旅客鉄道株式会社
・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	・株式会社ニトリホールディングス	・野村不動産株式会社	・東京急行電鉄株式会社
・株式会社商工組合中央金庫	・株式会社東武百貨店	・大和ハウス工業株式会社	・日本通運株式会社
・株式会社日本政策金融公庫	・株式会社セブン-イレブン・ジャパン	・三井不動産レジデンシャル株式会社	・日本郵船株式会社
・日本郵政グループ	・アディダスジャパン株式会社	・独立行政法人都市再生機構	・九州電力株式会社

経営学部卒業生からのメッセージ

大学を卒業したらどんなキャリアを築くか。明治大学経営学部で学び、現在、社会で輝く卒業生からのメッセージを参考に自分の未来図を描いてみましょう。

公務



企画・立案したことが
政府の方針ともなる
責任のある仕事です

財務省勤務
小川 拓人さん
公共経営学科
2009年卒業
東京都私立渋谷教育学部渋谷高等学校卒業



卒業式の日、行政研究所[®]の同期と。
※国家公務員上級試験、地方公務員を目指す特別研究生へ指導を行う、「国家試験指導センター行政研究所」。

財務省理財局は、予算上発行すべき国債の発行をはじめとした国債管理政策、民間金融だけではリスクテイクができない中長期的な出融資等を行う財政投融資、国民共有の資産である国有財産の適正な管理・処分等を担っています。入社する前は、役所とはトップが決めた事を忠実に執行するというイメージでしたが、実際は下から積み上げてトップが最終的な意思決定をするという流れでした。そのため、私が企画・立案したことが政府の方針として発表されるようなこともあり、責任のある仕事を任されていると実感することがあります。

大学時代に得たもので、特に仕事にいかされていると感じるのは、ゼミ等でのプレゼンを通じて培った説明能力です。経営学部は、将来の変化を読み解き、それに適切に対応できる有為な人材を養成する経営学科、グローバルに展開するビジネス社会に会計を武器として挑む人材を養成する会計学科、新しい公共の担い手として幅広い公共サービス分野のNPO等のマネジメントを学ぶ公共経営学科があります。経営学部に入れば社会で必要なさまざまな知識を吸収できますので、ぜひ、頑張ってください。

メーカー



与えられたことを
こなすだけでなく
自分しかできないことを探す

横山香料株式会社勤務
秋山 幸代さん
会計学科
2014年卒業
千葉県千葉市立千葉高等学校卒業



所属ゼミの岡田先生とゼミ生のみならずと私で卒業式に。先生も含め、今でもみんなで飲みに行きます！

飲料やデザート、和洋菓子、乳製品、調理食品などの食品に香りと風味を付与するフレーバー（香料）を製造する会社で営業活動をしています。ひと言でいえば売りに行くというより、商品開発のお手伝いをするような感じです。やはり自分が紹介した香料を使った製品が商品化されるとうれしく、さらにそれが話題になったり誰かが手にとってのを見たときには、喜びは倍増です。業務のうえで、自分にしかできないことを見つけ、自分らしいところをいかすことで、お客様に「会社単位」ではなく「個人単位」で自分を頼ってもらえることができと思っています。そうやって一人ひとりが「個」を強め、結束することで、組織はより大きな力を発揮するのではないのでしょうか。明治大学で培った「個」の力は、社会を動かす一員として活躍していくためにも、自分自身が喜びを得るためにも、重要なことだと考えています。就職活動で大事なことは、諦めないこと、視野を広げること、思いつめたときは誰かに頼ること。「やるときはやる」と、オンとオフを切り替え、そのバランスを上手に保つことは働いてからも重要なことだと思っています。

金融



大学で培った
基礎をいかして
より専門的な知識の習得へ

株式会社三菱東京UFJ銀行勤務
豊田 孝司さん
会計学科
2014年卒業
千葉県私立渋谷教育学部幕張高等学校卒業



卒業式にて会計士試験の受験仲間と。試験を通じて、素晴らしい友人に出会うことができました。

銀行はお客からお金をお預かりする業務、お預かりしたお金を会社等に貸し出す業務、振り込みや入金といった決済業務、日本企業の海外進出を支援する国際業務など、業務は多岐にわたります。その中で、私は企業との総合的な窓口となる支社という部署で、将来、担当先をもち単独で営業するため日々勉強中です。銀行員にはさまざまな知識が必要で、わからないことはすぐに調べ、知識を身につけることを繰り返します。これらの分野の基礎は、大学の授業で培われ、現在のより専門的な知識の習得にいかされていると、日々の業務の中で実感しています。

明治大学経営学部の1・2年次は、教養科目や外国語科目など多種多様な授業を受けられる環境が整っています。その2年間で自分が何に興味があるのかをしっかりと考え、3・4年次の間に興味をもった分野についてゼミや講義を通して専門性を高めていってください。

人生で一番、自分の時間がもてるのが大学生活であり、この4年間をどう過ごすかは自分次第です。経営学部にはやりたいことが見つかる環境が整っています。将来へつなげる素敵なキャンパスライフを送れるよう頑張ってください。

懸賞論文制度

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。審査委員会は2段階の厳密な審査を行っており、個人論文、共同論文に対し、優秀論文には5万円、佳作論文には3万円が授与されます。毎年多くの学生が、個人単位、ゼミ内のグループ単位で応募し競い合っています。入賞した作品は学生経営論集として出版され高い評価を得ており、懸賞論文に応募することは学生生活のひとつの目標となっています。

受賞者メッセージ

中川 翔太

経営学科4年
神奈川県立
多摩高等学校卒業



「大学生活でなにか成果を残したい」という思いで懸賞論文に挑戦しました。論文では、制御焦点理論という消費者行動の理論を用いて、より消費者に強い影響を与える商品パッケージのコピーライトについて模索しました。現実味を帯びた問題意識と充実した先行研究が評価されました。正直なところ、論文なんて堅苦しいものに挑戦するとは思いませんでしたが、興味がある分野を掘り下げていく作業はとても楽しく、また試行錯誤した経験は私に自信と力をくれました。みなさんも学生生活でしかできない懸賞論文にぜひ挑戦してみてください。

奨学金制度

明治大学には目的に応じてさまざまな奨学金が用意されています。大きく分けると、卒業後に返還の義務がない給費型と卒業と同時に返還の義務が生じる貸費型（無利子・有利子）のふたつのタイプがあります。これらの奨学金のほか、民間および地方公共団体の取り扱う奨学金や家計急変時の奨学金もあります。奨学金については、奨学金情報誌『assist』（写真右）に情報を掲載しています。



給費型（単年度）[返還の義務なし]

- 明治大学特別給費奨学金
※この奨学金は入学試験成績が特に優秀な者に給付します。
[給付額] 授業料相当額 [採用人数] 約70名
- 明治大学給費奨学金
[給付額] ① 未来サポーター 給費奨学生…授業料年額の1/2相当額
② 家族住所：首都圏…200,000円 首都圏外…300,000円
[募集人数] 約1,440名以内(内、未来サポーター給費奨学生約100名)
- 明治大学学業奨励給費奨学金
[給付額] 300,000円 [募集人数] 120名以内
- 明治大学校友会奨学金
毎年度各学部に分けられる寄付金総額に応じて、各学部が採用人数と給付額を決定します。

貸費型 [卒業と同時に返還の義務あり]

- 明治大学入学時貸費奨学金[無利子]
※この奨学金は入学試験前に出願が可能です。
※この奨学金は2017年度新入生をもって募集を停止する予定です。
[貸与額] 授業料年額の1/2相当額 [採用人数] 約300名
- 明治大学貸費奨学金[無利子]
※この奨学金は2017年度採用をもって募集を停止する予定です。
[貸与額] 授業料年額の1/2相当額 [募集人数] 約200名
- 日本学生支援機構第一種奨学金[無利子]
[貸与月額] 自宅通学生…30,000円または54,000円
自宅外通学生…30,000円または64,000円
- 日本学生支援機構第二種奨学金[有利子]
[貸与月額] 30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円から選択

入試情報(2017年度) ※内容については入試要項で必ず確認してください。

出願時に学科選択の必要はありません。
学科所属は2年次からです。

■一般選抜入学試験(一般選抜3科目方式・英語4技能試験活用方式)

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科		入学試験日	2月10日(金)	
募集人数	一般選抜3科目方式・270名 / 英語4技能試験活用方式・40名		合格発表日	2月17日(金)9:30 駿河台キャンパス	
出願期間	1月4日(水)～1月27日(金)※締切日消印有効		手続締切日	3月3日(金)※締切日消印有効	
試験科目・配点	3科目方式	教科	実施時間	科目	配点
	英語4技能試験活用方式	教科	実施時間	科目	配点

※一般選抜3科目方式と英語4技能試験活用方式の併願はできません。

■全学部統一入学試験

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科		入学試験日	2月5日(日)
募集人数	30名		合格発表日	2月17日(金)9:30 駿河台キャンパス
出願期間	1月4日(水)～1月20日(金)※締切日消印有効		手続締切日	3月3日(金)※締切日消印有効
試験科目・配点	教科	実施時間	科目	配点
	教科	実施時間	科目	配点

■大学入試センター試験利用入学試験(3科目方式・4科目方式)

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科		入学試験日	1月14日(土) / 1月15日(日) <small>※「平成29年度大学入試センター試験受験案内」を参照してください。</small>
募集人数	3科目方式・30名 / 4科目方式・25名		合格発表日	2月17日(金)9:30 駿河台キャンパス
出願期間	1月4日(水)～1月13日(金)※締切日消印有効		手続締切日	3月3日(金)※締切日消印有効
試験科目・配点	3科目方式	教科	科目	配点
	4科目方式	教科	科目	配点

(次ページへ続く)

■大学入試センター試験利用入学試験(3科目方式・4科目方式)(続き)

試験科目・配点	4科目方式	国語	『国語』	200点
	4科目方式	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』から1科目 『ドイツ語』、『フランス語』は、大学入試センター試験の配点200点を250点に換算する。 ●下記の4教科19科目のうちから2科目を選択。3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。 同一教科内について、2科目の使用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。	250点
4科目方式	4科目方式	地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	200点 (100点×2)
	4科目方式	公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理、政治・経済』	
4科目方式	4科目方式	数学	『数学I』、『数学I・数学A』、『数学II』、『数学II・数学B』	200点 (100点×2)
	4科目方式	理科	『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 (注)「理科①」を利用する場合は、「理科①」のうちから2科目を選択し、この2科目を以て1科目とみなす。	
4科目方式		合計(4科目)		650点

※「理科①」…「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。 ※「理科②」…「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

■2017年度特別入試日程

[外国人留学生入学試験]

明治大学における試験および「日本留学試験」による専攻(I型)				
募集人数	出願期間	入学試験日	入学科目	要項完成時期
40名 (I・II型)	2016年9月15日(木)～9月22日(木・祝)	第二次選考 2016年12月17日(土)	第一次選考 書類選考 第二次選考 面接	7月上旬
	「日本留学試験」のみによる選考(II型)			
出願期間				
2016年7月18日(月)～7月22日(金)				

出願資格等については、事前に経営学部事務室へお問い合わせください。経営学部事務室TEL.03-3296-4195

※詳細は必ず入試要項で確認してください。

※特別入試・推薦入試では、Web出願を行いません。

■過去入試結果一覧

[2015年度入試結果]

入試方式	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低	合格最低得点率	競争率
一般選抜入試	経営学科								
	会計学科	310	6,408	6,184	1,396	350	227	64.9	4.4
	公共経営学科								
全学部統一入試	経営学科								
	会計学科	30	1,737	1,706	252	350	250	71.4	6.8
	公共経営学科								
センター利用入試(前期日程)	経営学科								
	会計学科	30	1,613	1,608	293	-	-	-	5.5
	公共経営学科								
センター利用入試(前期日程)	経営学科								
	会計学科	25	852	852	330	-	-	-	2.6
	公共経営学科								
	計	55	2,465	2,460	623	-	-	-	3.9

※一般選抜入試の合格者数は追加合格を含みます。

※センター利用入試の合格最低点は非公開です。

[2016年度入試結果]

入試方式	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低	合格最低得点率	競争率
一般選抜入試	経営学科								
	会計学科	310	6,737	6,477	1,556	350	232	66.3	4.2
	公共経営学科								
全学部統一入試	経営学科								
	会計学科	30	1,695	1,645	241	350	254	72.6	6.8
	公共経営学科								
センター利用入試(前期日程)	経営学科								
	会計学科	30	1,376	1,374	360	-	-	-	3.8
	公共経営学科								
センター利用入試(前期日程)	経営学科								
	会計学科	25	988	987	303	-	-	-	3.3
	公共経営学科								
	計	55	2,364	1,605	759	-	-	-	3.6

※一般選抜入試の合格者数は追加合格を含みます。

※センター利用入試の合格最低点は非公開です。

■一般入試要項(Web出願)

一般入試(一般選抜・全学部統一・大学入試センター利用入試)は、すべてWeb出願になります。パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できますので、入試要項(願書)は取り寄せ不要です。

・Web出願の流れ



OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

実際にキャンパスへ来て、経営学部をもっとくわしく知ろう！
オープンキャンパスでキャンパス見学ツアーや模擬授業を体験しよう！

[2016年度オープンキャンパス日程]

8月2日(火)	10:00~16:00 [開場9:30] (予定)	駿河台キャンパス
8月3日(水)	10:00~16:00 [開場9:30] (予定)	駿河台キャンパス
8月4日(木)	10:00~16:00 [開場9:30] (予定)	駿河台キャンパス

駿河台キャンパスで開催されるオープンキャンパスは、Webで事前参加の登録が必要です。

オープンキャンパスに関する問い合わせ先
入学センター事務局 TEL.03-3296-4138
<http://www.meiji.ac.jp/exam/event/opencampus/>

キャンパス見学

上記の日程以外にもキャンパス見学は自由にできます。事前の申し込みは必要ありません。ただし、年末年始、入試実施に伴う入構制限期間中および、その他の本学が定める日等は、見学ができない場合があります。また、団体での見学をご希望の場合は、下記ホームページをご覧ください。

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_tour/

進学相談会

明治大学は、全国各地で開催される進学(受験)相談会に参加しています。くわしくは、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.meiji.ac.jp/exam/event/shingaku/>

経営学部

<http://www.meiji.ac.jp/keiei/>



経営学部事務局 (1・2年次:和泉キャンパス)

〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1 TEL.03-5300-1152
京王線・京王井の頭線、地下鉄都営新宿線(京王新線直通)/
明大前駅下車徒歩5分

※京王線●新宿から特急・準特急1駅(約5分)、急行・区間急行・快速2駅(約7分)、普通3駅(約10分) ※地下鉄都営新宿線(京王新線直通)●快速(橋本行)新宿→笹塚→明大前(新宿から4駅、約10分)/普通(笹塚行)新宿→笹塚→(京王線乗り換え)→明大前(新宿から約12分) ※京王井の頭線●渋谷から急行2駅(約7分)、普通7駅(約12分)/吉祥寺から急行3駅(約13分)、普通9駅(約17分)



経営学部事務局 (3・4年次:駿河台キャンパス)

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL.03-3296-4194~5
JR中央線・総武線、地下鉄東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅下車徒歩3分
地下鉄東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅下車徒歩5分
地下鉄都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線/神保町駅下車徒歩5分

※JR中央線・総武線の場合、新宿寄りに乗ると便利です。

受験生向け明治大学入試総合サイト

● 明治大学入試総合サイトURL

<http://www.meiji.ac.jp/exam/>

● 明治大学
入試総合サイトの
QRコード

